

かすみがうら市議会決算審査特別委員会会議録

令和7年9月10日 午後 1時21分 開 議

出席委員

委員長	設 楽 健 夫
副委員長	井 出 有 史
委員	矢 口 龍 人
委員	佐 藤 文 雄
委員	小座野 定 信
委員	櫻 井 繁 行
委員	小 倉 博 生
委員	久 松 公 一
委員	櫻 井 健 一
委員	鈴 木 貞 行
委員	服 部 栄 一
委員	鈴 木 更 司
委員	塚 本 直 樹

欠席委員

委員	石 澤 正 広
----	---------

出席説明者

市民部長	岩 井 雄一郎
教育部長	仲 澤 勤
環境防災課長	服 部 光 浩
地域コミュニティ課長	松 延 克 彦
市民課長	小 池 陽 子
税務課長	元 木 義 和
学校教育課長	斎 藤 隆 男
生涯学習課長	山 口 由 晃
生涯学習課副参事	山 口 浩 史

出席書記名

秘書人事課主任	砂 岡 礼
商工観光課主幹	藤 澤 修 平
都市整備課主事	保土田 智 幸
健康増進課主事	横 瀬 弓 佳

議会総務課課長補佐

鴻 巣 智 子

議会総務課主幹

川原場 智

議 事 日 程

令和7年9月10日（水曜日）午後 1時21分 開 議

1. 議案の審査

(1) 議案第73号 令和6年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

開 会 午後 1時21分

○設楽健夫委員長

こんにちは。

ただいまの出席委員は13名で、会議の定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

それでは、ただいまから、9月9日に引き続き決算審査特別委員会を開きます。

本日の日程ですが、お手元にあります審査予定表のとおりであります。

初めに、議案第73号のうち、教育委員会の所管に関わる部分を議題といたします。

説明を求めます。

○教育部長（仲澤 勤君）

それでは初めに、学校教育課所管に関する部分につきまして、斎藤課長からご説明申し上げます。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

それでは、令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定のうち、学校教育課所管の予算につきまして説明させていただきます。

初めに、歳入における主なものについて説明いたします。

決算書は35ページ、36ページをお願いいたします。

15款国庫支出金、2項7目1節小学校費補助金、収入済額1288万6715円、備考欄にございます各事業に対する国庫補助金となります。

このうち主なものとしたしましては、4段目のへき地児童生徒援助費等補助金1102万4000円につきましては、令和4年度に開校いたしました千代田義務教育学校のスクールバス運行に対する助成で、補助率は2分の1となります。また令和4年度から令和8年度までが補助対象期間となっております。

続いて、決算書次のページ、37ページ、38ページをお願いいたします。一番上の段になります。

2節中学校費補助金、収入済額2108万5285円、小学校同様、備考欄にございます各事業に対する国庫補助金となります。

このうち主なものとしたしましては、3段目の学校施設環境改善交付金1966万1000円で、千代田義務教育学校屋内運動場非構造部材耐震対策工事に関わる補助で、補助率は3分の1となります。また、教育支援体制整備事業費補助金12万1000円につきましては、校内フリースクール整備のための補助であり、各中学校に整備した校内フリースクールの備品購入に充当したものととなります。補助率は3分の1となります。

続いて、決算書57ページ、58ページをお願いいたします。

21款5項6目1節の雑入になります。収入済額2億6503万5897円のうち、学校教育課所管分につきましては1億494万7234円となります。

収入の主なものとしたしましては、決算書59ページ、60ページをお開き願います。

備考欄の一番下、公立小中学校給食費（現年度）で1億287万6920円となります。令和3年度から、学校給食費の公会計化に伴い児童生徒、教職員等から徴収します給食費となります。なお、令和6年度か

ら、市内小中学校に就学する児童生徒のうち、1家庭で2人以上となる保護者の第2子以降となる児童生徒の給食費の無償化を実施しております。

また、次のページ、61ページ、62ページに移りまして、備考欄の上から4段目、公立小中学校給食費（過年度）4万5200円は、令和5年度末までに未収であった給食費のうち、令和6年度中に納付があったものとなります。

また、次のページに移りまして、63、64ページの上から2段目のリーディングDXスクール事業委託金60万5264円につきましては、文部科学省が学校教育現場における教育の実践や学校公務においてDX化を図るとともに、それらの実践事例を蓄積するためのパイロット事業を行うため、事業実践を行う学校を募集し、パイロット校として事業に応募した霞ヶ浦中学校、霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校が実施する事業の委託金となります。GIGA端末を活用しまして、教育の実践の場においてどのような活用が図られるか、学校の校務においてどのように活用できるかなどを実践、調査、研究を行い、国が求めている実践事例の蓄積に協力するものとなります。

歳入については以上となります。

続いて、歳出について説明いたします。歳出の主なもののみ説明させていただきます。

決算書は219、220ページをお願いいたします。歳出予算執行状況は14ページをお開きください。215番になります。タブレットPCの主要事業概要は112ページになります。

10款1項3目一般管理費、01教育総務事業、0101教育指導に要する経費、当初予算3143万4000円、補正により、予算現額2942万1000円に対して執行額が2908万3820円で、執行率は98.85%となります。

教職員の資質向上、指導力強化を図り、児童生徒の教育内容の充実に要する経費となります。

支出の主なものといたしまして、12節のICT支援業務委託316万8000円は、ICTを活用した魅力ある授業づくりや発展に向けた多様な支援の推進のほか、教員のICT活用能力向上のための授業提案や教材作成、教員研修、校務におけるICT支援等のサポートを行うため、ICT支援員を各小中義務教育学校へ派遣を行いました。17節の教師用指導図書2490万9516円は、学習指導要領に伴う小学校教書の採択替えのため、教師用の指導用教科図書の購入を行ったものとなります。このほか、先ほど歳入で説明いたしましたリーディングDX事業の一環として、教職員が研修を行うための講師の招聘や、市外、県外で行われる研修や公開授業等に参加するための旅費などの支出を行ったものとなります。

続いて、決算書はその下です。歳出予算執行状況は217番、主要事業は113ページになります。

02教育支援事業、0201教育相談に要する経費、当初予算1082万4000円、予算現額、同額です。執行額が990万9963円で、執行率は91.56%です。

様々な事情により学校へ登校できない児童生徒並びに保護者からの相談及び復帰支援を図るため、教育支援センターを運営するほか、スクールロイヤーの業務委託を行い、学校で発生する様々な問題に対して法的根拠を示しながら対応できるよう、法律相談、助言指導が受けられるよう体制づくりを行いました。

支出の主なものといたしましては、会計年度任用職員で雇用する教育相談員の報酬609万66円をはじめ、手当などの人件費となります。

続いて、決算書は次のページ、221、222ページをお願いいたします。備考欄の中段から下になります。

0203学校支援員設置に要する経費、当初予算6555万2000円、流用により、予算現額6601万6000円に対して執行額が6549万7665円で、執行率は99.21%になります。

この事業におきましては、特別な支援を要する児童生徒の学校生活における支援を行うため、学校支援員を配置し、当該児童生徒の学校生活での安全確保並びに学校運営、学校生活に寄与するものとなり

ます。

支出の主なものといたしましては、会計年度任用職員、学校支援員の報酬4019万7290円のほか、手当などの人件費となります。

続いて、223ページ、224ページをお願いいたします。ページの一番上になります。タブレットP Cの主要事業概要書は114ページになります。

4目教育振興対策費、01教育振興対策事業、0101指導主事設置に要する経費、当初予算2947万1000円、補正により、予算現額2847万1000円に対しまして執行額が2782万6533円で、執行率は97.74%です。

茨城県から指導主事3名の派遣をいただき、市内小中義務教育学校における教育内容等の指導助言を行うことにより、教育の質の向上、充実を図り、学校運営の安定化を図っています。また、外部講師をお招きし、小中一貫教育における授業力の向上に関わる教職員向けの研修を行いました。

支出の主なものといたしましては、派遣指導主事に関わる負担金2748万9493円となります。また、授業力向上などの研修会を開催したことから、講師謝礼として33万7040円を支出しているところでございます。

続いて、決算書225ページ、226ページをお願いいたします。歳出予算執行状況は15ページをお開きください。224番となります。主要事業概要は115ページになります。

02特色ある学校づくり事業、0201英語指導助手設置に要する経費、当初予算額2070万5000円、予算現額、同額です。こちらに対しまして執行額が2070万4200円で、執行率は100%です。

市内小中義務教育学校における外国語授業、外国語活動の充実を図るため、A L Tを配置し、実践英語や言語、文化の理解を深め、コミュニケーション能力を育成し、国際理解教育の充実を図るものとなります。

支出の主なものといたしましては、外国語指導助手の派遣委託として2070万4200円となります。

続きまして、決算書はその下になります。

0202子どもミライ学習に要する経費、当初予算159万6000円、予算現額、同額に対しまして執行額が117万1519円で、執行率は73.4%となります。

子どもミライ学習として、地域事業者の集まりであるプラットフォームメンバーが各学校に講師として出向き、ご自身の経験を基にしながら、地域で働くこと、社会的な役割に関わる講話を行ったり、生徒たちが地元食材を使用した新商品の考案をして、販売体験をしたりするなど、事業を行っております。こうした経験を通じ、自分自身の将来を考え、将来のまちづくりを考える人材育成と郷土愛の醸成を図っている事業となります。

支出の主なものといたしましては、生徒が考案した新商品の開発、製作に関わる12節委託費用90万円となります。

続いて、決算書は同じページで、下のほうになります。

01の児童支援事業、0103小学校就学支援に要する経費、当初予算2386万6000円、補正により、予算現額2319万円に対しまして執行額が1633万6497円で、執行率は70.45%になります。

児童の就学に関する支援、援助に係るものとして、小学校入学時におけるランドセルの贈呈並びに家計の状況により学用品の購入や学校への納入金の負担が困難な家庭に対する就学援助の実施、特別支援教育就学に対する奨励費の交付などを行っております。

支出の主なものといたしましては、ランドセルの贈呈に関わる7節入学記念品585万7610円、就学援助費846万489円となっております。

続きまして、その下、タブレットP Cの主要事業概要は116ページになります。

02小学校管理運営事業、0201小学校管理運営に要する経費、当初予算 2 億3695万1000円、補正及び流用によりまして、予算現額 2 億1858万2000円に対して執行額が 2 億1561万728円で、執行率は98.64%です。

小学校及び義務教育学校前期課程の運営に関わる経費となります。

支出の主なものといたしましては、次のページの227ページ、228ページの備考欄中段に記載があります。12節小学校スクールバス運行委託 1 億7482万6507円となります。学校の統合により遠距離通学となる児童を対象に、スクールバスを運行するものとなります。

また、12節スクールバス乗降管理システム保守業務委託302万4186円は、令和 5 年度に導入いたしました児童のバス通学における安全性の向上を図るため、乗降状況を確認するシステムの保守を行うものとなります。

続いて、同じページの中段より下になります。

0202小学校給食管理運営に要する経費、当初予算 2 億3100万7000円、繰越額55万8000円、補正及び流用により、予算現額 2 億2770万7000円に対して執行額が 2 億1545万4875円で、執行率は94.62%になります。

この事業につきましては、小学校及び義務教育学校前期課程の学校給食の実施に関わる経費となります。

支出の主なものといたしましては、次の229、230ページをお願いいたします。備考欄上から 4 段目、給食食材の購入費である10節給食費 1 億862万2418円のほか、調理業務を委託する12節小学校給食業務委託6006万2753円、給食調理機器導入に伴うものとしまして、14節給食室電源改修工事2375万2369円となります。なお、給食費の支出につきましては、物価高騰による食材費の値上がり相当として、1 人当たり月額700円を市負担としております。

続きまして、決算書は231ページ、232ページをお願いいたします。歳出予算執行状況は235番になります。主要事業概要は117ページになります。

04小学校施設整備事業、0401小学校施設整備に要する経費、当初予算2353万2000円、予算現額、同額に対しまして執行額が2051万5000円で、執行率は91.78%です。

小学校の施設整備に関わるものとなります。令和 6 年度におきましては、下稲吉東小学校屋上防水及び高圧受電設備修繕となっております。

支出の主なものといたしましては、14節の下稲吉小学校屋上防水改修工事1681万1300円となります。

続いて、決算書は233ページ、234ページをお願いいたします。歳出予算執行状況は237番になります。

0102の中学校生徒安全推進に要する経費、当初予算322万2000円、予算現額、同額に対しまして執行額が258万5440円で、執行率は80.24%です。

令和 6 年度におきましては、通学用自転車の無償貸出業務委託を行いました。このほか日本スポーツ振興センターの保険加入、通学自転車用ヘルメット購入補助を行っております。

支出の主なものといたしましては、12節の通学用自転車無償貸出業務委託160万3800円となります。

続いて、その下、0103中学校就学支援に要する経費、当初予算1836万7000円、予算現額同額で、執行額が1592万1893円で、執行率は86.69%です。

この事業につきましては、生徒の就学に関する支援、援助に関わるものとして、家計の状況により、学用品の購入や学校への納入金の負担が困難な家庭に対する就学援助費の実施、特別支援教育就学に対する奨励費の交付などを行っております。

支出の主なものといたしまして、19節就学援助費1400万6278円となります。

続いて、決算書はその下になります。歳出予算執行状況は16ページをお願いいたします。239番になります。

0104中学校部活動支援に要する経費、当初予算1309万2000円、補正、流用により、予算現額1351万7000円に対して執行額が1313万5054円で、執行率が97.17%です。このうち、学校教育課所管に関わるものとしましては執行額が1232万9914円となります。

中学校の部活動運営に関わる支援を行う事業となります。

支出の主なものといたしましては、大会参加やバス借上げなどに対する18節中学校部活動補助金1134万3682円となります。

続いて、決算書が235ページ、236ページをお願いいたします。歳出予算執行状況は240番になります。主要事業概要は118ページになります。

02中学校管理運営事業、0201中学校管理運営に要する経費、当初予算6737万1000円、補正、流用によりまして、予算現額6719万2000円に対して執行額が6591万8417円で、執行率は98.10%です。

中学校及び義務教育学校後期の運営に関わるものとなります。

支出の主なものといたしましては、12節の霞ヶ浦中学校スクールバス運行委託として4023万6020円となります。

同じく、12節のスクールバス乗降管理システム保守業務委託52万5954円については、小学校と同様です。

続いて、決算書、同じページの下の方になります。歳出予算執行状況は241番です。

0202中学校給食管理運営に要する経費、当初予算1億5401万8000円、繰越額103万1000円、補正及び流用により、予算現額1億4517万1000円に対して執行額が1億3700万4186円で、執行率は94.37%です。

学校給食の運営に関わる経費となります。

主な経費については、決算書、次の237、238ページに移りまして、備考欄の上から7段目、給食食材購入に関わる10節給食費6804万5665円、給食調理に関わる12節中学校給食業務委託4719万2164円のほか、給食調理機器導入に伴い行いました14節給食室電源改修工事1064万3531円となります。なお、小学校同様、1人当たり月額700円を市負担としているところでございます。

続きまして、決算書239ページ、240ページをお願いいたします。歳出予算執行状況は246番になります。主要事業概要は119ページになります。

04の中学校施設整備事業、0401中学校施設整備に要する経費、当初予算6159万3000円、流用により、予算現額6267万4000円に対して執行額が6087万6200円で、執行率は97.13%です。

中学校施設の整備に関わるものとなります。令和6年度は千代田義務教育学校屋内運動場非構造部材耐震対策に関わる工事を行いました。

また、主な経費といたしましては、決算書の次のページ、241ページ、242ページに移りまして、14節の千代田義務教育学校屋内運動場非構造部材耐震対策工事5868万5000円となります。

続きまして、その下になります。

0402下稲吉中学校施設整備に要する経費、当初予算5052万3000円、流用により、予算現額4954万9000円に対しまして執行額が4954万8400円で、執行率は100%です。

令和6年度におきましては下稲吉中学校のテニスコートの整備及び屋内運動場周辺の舗装工事を行ったものとなります。

主な経費は、下稲吉中学校テニスコート・アスファルト舗装工事4606万1400円となります。

○設楽健夫委員長

それでは、質疑に入ります。

挙手をしてご発言をお願いします。

○佐藤文雄委員

説明の15ページのところで、英語指導助手、ALTですかね、これは今現在、何人を雇っていらっしゃるんですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

令和6年度時点では6名雇用しておりました。令和7年度は5名となっております。

○佐藤文雄委員

令和7年度は、ALTではなくて、外国人を担当するという形になっていると思うのですが。変わりましたよね、令和7年度はいかがですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

ALT自体は、令和6年度は、先ほども申し上げたように6名、令和7年度は5名と、そのほか多分おっしゃっているのは、英語のサポートの非常勤講師の方のことをおっしゃっているのかなと思うのですが、そちら3名いらっしゃいましたが、そちらについての雇用は今年はしておりません。

○佐藤文雄委員

じゃ、ALTそのものは6名から令和7年度が5名に変わっただけということですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

はい、佐藤委員お見込みのとおりです。

○佐藤文雄委員

あと、子どもミライ学習が、これ非常にいい活動かなと思うのですが、執行率悪いですね。いかがですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

こちら、講師の謝礼等々が見込みより少なかったということで、執行率のほうが少なくなっております。

○佐藤文雄委員

ちょっとタブレットのやつ分かりませんが、講師が少なかったということは、回数が少なくなったということですか。回数等も含めて、当初大体このぐらいの人にやってもらおうと、結果的にそれだけの実践ができなかったということなのではないかなと思うのですが。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

講師謝礼のパターンと、まず整理して申し上げますと、小学校ですと、各学年といいますかクラスごとに派遣いただいていますので、そちらは行ったのですが、商品開発のところ、審査とかでやっていただく方の、商品開発という中学校でやっていくと、審査員の方を何人か呼び出して、一般の方をお呼びするのですが、そちらの協力が少なかったということで、講師の謝礼の支出が少なかったと。

もう1点、すみません、先ほど漏れていましたが、消耗品とし購入している、幾らかちょっとしたものを買うのですが、そういった消耗品の購入が見込みよりも少なくなったということで、執行率が落ちているというところでございます。

○佐藤文雄委員

では、特別大きな執行率の低下というふうに見て取れないような内容だったように思うのですが、いかがですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

事業自体は滞りなく進行できましたので、単純にその見込みよりは少なかったということで、事業自体には問題なかったという認識でございます。

○設楽健夫委員長

ほかにございますか。

○櫻井繁行委員

参考資料をつけていただいていますよね、学校教育課のほうで。要保護、準要保護の児童生徒のところなんですけれども、令和6年度としては、小中学校合わせると認定率が伸びているように感じているんですけれども、改めて令和6年度どのような状況にあったのかご説明いただけますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

以前から佐藤委員なんかからも、この要保護、準要保護なんかについてはご指摘いただいていた、これまでも周知とかいろいろ努めてまいりました。その年度によって多少児童生徒の状況も変わってくるパターンもありますので、これまでもその周知に努めたということと、あとはそういったところで、これまで申請が漏れていた方とかなんかも増えたりとか、多少の、実際小学校なんかは実際表で見ると下がっていますので、8.43%が8.1%ということで、ほぼ同額……、失礼しました、中学校が逆に伸びたというところもありますし、中学校ですと修学旅行費等が入ってくる費用のところもありますので、そういったところでは額が高いということと伸びたというふうに、ちょっと詳細までは分析はできていないんですが、そういったところが要因ではないかと考えております。

○櫻井繁行委員

よく分かりました。

それと、これは令和5年度の就学援助率ということで、学校教育課のほうで参考資料をつけていただいていますけれども、これは県内の自治体の動向が見て取れるんですが、かすみがうら市、10%未満ということになっていますけれども、これはどのようにお考えなんですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

そうですね、中には15%のところがいるというところもありますので、うちの市と比較して大きな市ですと、例えば、生活がしやすいということで、母子家庭とかそういったところが多かったりとか、そういった要因は多少あるかなと。そうは言っても、水戸市とか日立市が全部10%未満ということで同等になっていますので、そればかりも一概ではないのかなと。

単純に、全校を通じて、学校を通じて周知は広めていますので、拾えるところは極力拾えているのかなというふうには認識はしておりますが、どうしてもこれはその各市町村の生活実態の状況にもよりますので、一概にちょっと、すみません、比較が難しいかなとは考えております。

○櫻井繁行委員

ありがとうございました。

○佐藤文雄委員

関連してなんですが、やはり周知徹底が必要だというふうには、私は何回も何回も繰り返して言っているんですが、当初予算よりやはり低いということは、大体もうちょっと伸びてもいいのかなと。それは相手側の、保護者の皆さんの理解が十分でないというところがあるのではないかなと思うんですね。

例えばこれ、龍ヶ崎市とか常総市、15%のところ結構ありますよね。茨城県の平均が8.18%になっておりますよね。これ見ると、意外と都市部ではないところが低いように思われるんですが、意外とそういう点では、就学援助に対する認識がちょっと低いというところもあるのではないかな。堂々と就学援

助を受けていただければいいのではないかなと。都市部になるほどに高くなるんですね。

それから、沖縄県なんかは、前にも話したと思うんですが、就学援助のための動画を出しているんですよ。こういう形でできますよというその動画を、ホームページで発信しているんです。そうすると、ああ、簡単なんだなというふうに思われるので、そういう取組ももうちょっと工夫をしていただければと思うんですが、いかがですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

以前から佐藤委員おっしゃるように、PRが大事だろうということで、我々もまだ足りないところもありますので、いろいろ事業を検証していきながら、先ほどご紹介いただいたような内容も確認しながら、さらなるPRの充実に努めていきたいと思います。

○矢口龍人委員

小学校の就学支援なんですけれども、執行率も非常に低くて、不用額が多いんですけれども、これ、内容、ちょっとご説明いただけますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

執行率に関しましては、まず当初である程度、その前年度の見込みで予算を組み立てております。この中で、例えば単価が高い修学旅行費とかそういったもの、予算時点を見込んでいたところ、実際修学旅行を欠席されたとかで執行がされなかったと。

それともう1つの点としましては、ちょっと今すみません、私、失念していたんですが、令和6年から第2子の給食の無償化なんかを始めております。そういった点で、今まで逆にそういったところで執行を見込んでいたんですが、入れていなかったというところなんです。本来その補正、減額補正等をして調整するべきではないかというところもあるんですが、年度末ぎりぎりでもやっぱり申請されている方なんかもいることを見込みまして、なるべくここら辺は触らないようにということで、させていただいた経過もございますので、執行率につながったというところもご承知いただければと思います。

○矢口龍人委員

ランドセル関係はほとんど100%執行されているんですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

中には、やはり数件ご辞退される方がいらっしゃいます、数件です。すみません、細かい数字までは把握していないんですが。

すみません、失礼しました。執行率としまして95.93%、昨年度ですと配布数が236、希望なしが7名というふうな状況になっております。

〔「どうしてです、それ。どうしているんだろう」と呼ぶ者あり〕

○矢口龍人委員

そういう、あれですよ、おじいちゃんを買っちゃったから要らないというようなことだと。

それから、これ、中学校の就学支援も同じような理由なんですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

中学校、小学校、単価は違いますが、同等の内容で、基準なんかも認定も同じですので、同じような内容となっております。

○櫻井健一委員

234ページの通学用の自転車の貸出しなんですけれども、何台ぐらいあるか教えていただけますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

通学用の無償貸出しで、令和6年度の入学者数に関しましては65台貸しております。ちなみに令和7

年度、今年度は71台ということで、今現在は136台ほど貸している状況でございます。

○櫻井健一委員

はい、分かりました。

あと、その下の中学校の部活動支援に要する経費なんですけれども、バスの貸出し、バス料金ですとか、そういったところの支援だと思うんですけれども、基準として、連盟に加入していない大会には出さなくなってきたみたいなことがあるかと思うんですけれども、これはいつからそうなったんですか。今年度の途中からなんでしょうか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

基本的に部活動の補助金につきましては、中体連が主催する補助金の大会等に参加する場合に使用してくださいというところでもございました。運用の中で、準ずる大会というところで、例えば中体連ですと、運動部活動はいいんですが、吹奏楽とかそういったものについては、なかなかその中体連という組織ではないので、でも文化部の活動としてあるということで、それに準ずるような大会というような見方をしておりました。

ここのその、正直ここが曖昧なところがありまして、これまでも多少、執行の中で、準ずるだろうという判断ではあって見ていた大会も、よくよく精査してみるとオープン参加のような大会で、ほぼ練習試合に近いのではないかなというところにつきましては、その種目独自のものも多少あったりするものですから、そういったところは公平感を鑑みて、よく精査をした上で使っていただくというところで、整理した経過はございます。

ですので、できるだけ公平公正に皆さんの子どもたちが使えるようにお願いしているということで、これまでの運用で、若干ずれていたのではないかなというところは、整理させていただいた経過はございます。

○櫻井健一委員

はっきりした基準がないので曖昧になっている部分もあるかとは思いますが、部活動として出られるような団体も少なくなっていく傾向であるのかなと思うんですけれども、そうなってきたときに、この予算、途中で補正を組んで修正していただいています、子育てしやすいまちづくりの中では、こういったところの支援というのも充実していったほうが助かるのではないかなという考えもありますので、この、できるだけそういう部活動をやられている負担がないような形を取れるような、そういう取組というのができないのかというのを、教えていただけないですかね。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

まあ、何でもかんでもというわけにはいかないと思います。やっぱり一定のその公正公平的なものを考え、確かにその競技ごとに、先ほど私も申し上げました競技ごとに、いろいろなその参加資格であったりとか、要件が違うというものがあると思うんです。できるだけその皆さんに均等に、限られた予算のところもありますので、その辺はその折り合いをつけながら、検討なりとかはさせていただければなと思います。

同じく、やはりこの部活動の補助金は、市町村独自の制度のものでございますので、市町村によって考え方も違うところもありますので、そういったところもほかの実例なんかも参考にさせていただきながら、検証させていただければなと思います。

○櫻井健一委員

限られた財政の中で、やりくりで大変なのは承知しておるんですが、部活動の運動部などは、トーナメントで勝ち上がっていくといっぱい使うような傾向と、吹奏楽等はそういうことがなくて偏るという

ことも分かりますが、各部活で自分の能力が発揮できるようなそういった場所を作っていただきたいと思いますので。これは要望です。お願いします。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

引き続き検証させていただきます。

○設楽健夫委員長

そのほかございますか。

○久松公生委員

ちょっと2つほどお聞きします。

決算書236の中学校給食管理運営に要する経費の中で、14節かな、給食室電源改修工事ってあるんですが、この学校と、その中身というか、ちょっと教えていただけますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

給食室の関係につきましては、まず、小学校の部分ですと、下稲吉小学校と下稲吉東小学校、中学校ですと、下稲吉中学校の工事となります。

こちらは多少衛生管理の向上を担いまして、一旦茹でた野菜なんかを安全な温度に保つために、真空冷却機というものを導入いたしました。そちらの導入のために電源の改修が必要だったものですから、電源の改修と併せて機器の購入を進めたということでございます。

○久松公生委員

じゃ、その電源を強くするための工事の部分、改修工事の額というか、それが1000万円ということですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

工事プラス備品の購入が若干含まれているというふうな認識で、お願いしたいと思います。

○久松公生委員

それからもう1つ。

決算書240ページで、中学校施設管理に要する経費の中の中学校施設整備に要する経費で、立木伐採というのがあったんですが、この業務委託を189万円なんですけれども、この学校はどこでしたか、教えてもらえればと思います。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

こちら、千代田義務教育学校のグラウンド内に生えていました杉の木ですかね、高いものがあったものですから、そちらの伐採を進めさせていただきました。

○久松公生委員

その義務教育学校の杉、グラウンドといいますか、それはじゃ、もうその昔からあったような木を伐採したということでしょうか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

はい、お見込みのとおりです。

○久松公生委員

ありがとうございます。

○設楽健夫委員長

そのほかございますか。

○佐藤文雄委員

未済額に関する調べのやつで、27ページ、学校教育課のところで雑入、この数字がちょっと合いませ

んが、これ、現年度分だけを計上しているのかなと思うんですが。収入が、これについては1億494万7234円と書いてあって、こっちには1億287万6920円とあります。この違いは分かりませんが、よく。

そこで、収入未済額がありますね、98万7660円、これは学校給食未納のためってなっていますが、これは実態的にはどうなっているのでしょうか、例えば人数とか。

〔「学校に行っていないから払わない」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課長（斎藤隆男君）

すみません、まず滞納者、令和6年度の現年度分につきましては、全小学校で33名、中学校で25名いらっしゃいました。滞納額としましては54万6380円となっております。

○佐藤文雄委員

98万7000円ですよね、これはその過年度も含めてで、全部入れると98万7660円。

〔「98万7660円」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

静かにしてください。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

失礼いたしました。過年度分が48万6408円で、合計でということになります。

○佐藤文雄委員

関連してなんですが、今フリースクールとか、あとは子ども未来室だっけ、ひたちの広場、オンラインとかっていうことでありますが、これ、こういうところで不登校の子どもたちが払わないということもあるかなと思うんですが、そういう実態は分かりますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

ある程度不登校とかの場合ですと、一応保護者の申出をいただくんですが、喫食を止めたいということの申出があった場合には、そちらで給食の喫食、提供を止めますので、そういったところでは未納等は少し減らせるかなということがあります。長期的にひたちの広場に在籍しながら行くというところにつきましては、そういった手続を取っていただいて納入を止めると。納付の必要性を止めるということで調整はしていますが、一部は若干残る可能性もございます。

○佐藤文雄委員

まあ、学校給食無償化にすれば一番いいんですがね。

それで、今、ひたちの広場とか校内フリースクールとかオンラインと、こういう人数の子については、前に私、一般質問で質問しましたが、これ実態は把握されていますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

すみません、今ちょっと細かい資料はないんですが、私の聞いている限りでは、昨年度は、令和6年度の実績ですが、ひたちの広場とかの登録につきましては11名ほど、利用延べにすると、たしか250名前後だったかと思います。

○佐藤文雄委員

ひたちの広場に来ている子どもが11名で、延べ人数が250名。ということは、延べ人数ということは、毎日通ってはいないから、まあ大体と。じゃ、11名が大体対象になっていますよということですよ。

では、フリースクールのほうはどうですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

先日も資料請求で出させていただいているかと思うんですが、霞ヶ浦中学校で、令和6年度利用状況で延べ人数になってしまいますが50名、下稲吉中学校ですと137名、千代田義務教育学校ですと72名と、

合計で259名ほど利用があると。これも利用したりしなかったりということで、あとはすみません、ひたちの広場のように登録制ではないので、それぞれの個数につきましては把握をしておりません。

○佐藤文雄委員

延べ人数はいただいたんですよ。実態が何人なのかというのは。この前、教育長が話されたとは思いますが、実態的には何人になりますか。各、霞ヶ浦中学校、下稲吉中学校、千代田義務教育学校、それぞれ今、不登校と言われている子どもたちは何人でしょうか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

すみません、フリースクールの利用のその個数自体は、確認をさせていただかないと分からないんですが、不登校につきましては、まず小学校の合計数で申し上げますと、令和6年度では28名、中学校ですと69名、合計で97名となっております。

○佐藤文雄委員

令和7年度は分かりますか、分かりませんか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

すみません、やはり不登校の子、日付の経過でちょっと変わってくるもので、今現在は取りまとめている数字は、手元にございせんので分かりません。

○佐藤文雄委員

私も前に豊田市のところに行って、そういう、フリースクールではないですけども、対策をやっているところも行ったんですがね、研修で。施設としては、千代田コミュニティセンターがありますよね、志筑のほうに。あそこの2階がまるっきり空いているように思っていたんですよ。だから、ああいうところにも活用するという方法は、この前、議員研修の報告のときに櫻井健一委員長が報告したんですが、それについてはいかがか、そういう提案についてはどう考えていますか。

○教育部長（仲澤 勤君）

それでは、お答えします。

その不登校対策の一つとして、千代田コミュニティセンターを使うという案、一つの方法としてはいいのかなと考えるところはございます。ただ、その地理的条件の中で、なかなかそこに通わせるということとなると、保護者の負担とかそういったものもあるので、総合的に内部で検証させていただきたいというところでございます。

○矢口龍人委員

給食の件なんですけれども、オーガニック食材はどの程度この令和6年度の中に入っているのか、説明いただけますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

量的なベースで申し上げますと、オーガニックのお米を令和6年12月と令和7年1月の途中ぐらいまで使用させていただきました。あとはニンジンとかも提供いただいたんですが、ニンジンはそのための献立のところもありますので、すみません、細かい数字のキログラム数までは把握していないんですが、お米については12月と1月の途中まで、ニンジンについてはその都度の、すみません、やっぱり12月中のニンジンを使う献立に使わせていただいたというところでございます。

○矢口龍人委員

そうしますと、市長も、市のほうでもオーガニック推進ということで方向づけしているようなんですけれども、今後そのオーガニック食材を学校給食に取り入れていくのかどうなのか、説明いただけますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

今時点では、そのオーガニックの食材自体も市からの提供というところですので、給食費の費用については今のところ負担などはないんですが、給食の目的、利用推奨する中では、やはり顔の見える食材ということで、地場産品の活用というのを推奨されています。そういったところでは、市内で取れた野菜なりお米なりとか、そういったものは今後も活用していきたいと。それがオーガニックであればなおよろしいのではないかなとは考えております。

○矢口龍人委員

もちろん市場の卸と比べると、食材費の部分で相当の価格差があると思うんですよ。そういった場合に、実際のところ今おっしゃっていたように、給食費の無料化というのが今、地域、近隣市でも行われている中で、かすみがうら市もやはりそっちの方向に向けていただきたいと思っはいるんですけども、そのオーガニックとかそういうようなところと一緒にしてしまうと非常に難しい判断がされるのではないかなと思うんですけども、その辺のところをお尋ねいたします。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

そうですね、確かにオーガニックのものは一般的には単価が高いという認識もございます。そういったところが、給食費の、すみません、まだ現在、無償化ができていない状況の中で、費用負担を、給食費を保護者から取るという観点から考えれば、できるだけその予算内なり、費用負担を抑えるといった意味では、そういった費用も鑑みた給食食材の購入というのは必要かと思えます。

その中で、オーガニックの食材を市として推奨するという中で、その提供自体を給食費の中で賄うというところよりは、市なりとか、生産者の努力の中で提供いただけるというふうな、ちょっと相乗、相対のところの関係がうまくいけば、両方望ましいというか、よいのではないかなとは思いますが、単純に購入となってしまうと、少し費用と予算との兼ね合いは必然的に見ていかなければならないと考えます。

○矢口龍人委員

ですから、そういうところを市の方針としてきちっと、やはり方向づけをしたほうがいいのではないかなと思うんですよ。

さっき言っていたように、12月と1月ですか、米を使ったと言いましたけれども、本来は1年を通して使っていただくというのが一番理想だと思うし、そうすると、要するに食材費がぐっと上がるでしょうから、その辺のところを使うのであればきちっと予算立てしてやるべきであるし。無償化は、もちろんする方向でいるならば、それも両方ともきちっとマッチングしたそういう計画というものをしっかり示していただきたいと思います。

これ、部長、説明いただけますか。

○教育部長（仲澤 勤君）

学校給食費の無償化とオーガニック給食の推進ということで、現在オーガニック給食に係る食材費につきまして、今は学校教育の会計の中に入っておりません。また、農業の推進という部分も含めた中で進めているという別の軸があります。学校給食は、極力食材費を抑えて、安価に安定したおいしい給食を提供できるよう進めております。こういったものも、全庁的にみんなで方向性を共有しながら、今後も進めていきたいとは考えてございます。

○小座野定信委員

給食問題、いろいろと皆さんから活発な意見が出ていますけれども、先ほどの説明の中で、給食費食材の高騰、1人当たり700円負担金を増やしたということですが、今年の9月2日でしたか、米の農協買上げが1俵30キログラム当たり1万6000円だか1万7000円という回答出ました。農家にとっては、

米農家にとっては非常にうれしい値上げだったと思うんですけども、消費者にとっては、非常に物すごく昨年、一昨年と比べると大きな伸びをしています。

そういったことで、今年、決算のこれ質問ですけども、来年の予算を考えた場合、あとはまあ、もちろん負担金700円で足りるのか。また、先ほどから出ているオーガニックの問題も、いろいろと鑑みますと、当然、個人負担が増えてくるのかなと。また、個人負担が増えるから、一般財源でその負担をされるのかなと、そういうちょっと疑問が出てくるんですけども、そういったことはどういうふうにお考えでしょうか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

お米に関しましては、やはり今のかすみがうら市産のコシヒカリを学校給食では使用しております。そういった中で、小座野委員おっしゃったように、売渡価格が高くなっているというところでは、既に購入先である学校給食会というところで取りまとめているんですが、そちらからも値上がりしますということで、予定されていますということで通知が来ているところでございます。

その中で、やはり今現在はその700円相当分の部分には市負担で行っておりますが、そこも、そのほかお米も含めまして食材の値上がりがどんどんしているところから、給食費の見直しというのはかけていかななくてはならないと考えているところでございます。

その中で、こういった負担の仕方をしていくかというところ、まずはベースとしては、給食費1人頭の幾らという単価を決めて、その中で今現在のように給食費を徴収している状況ですと、保護者負担を幾らにするのか、市で持つのかというのは、今後、内部で財政も含めて協議をしていかなければならないと考えているところでございます。まだ現時点ではまともではおりませんが、引き続き検討をしてまいります。

○小座野定信委員

非常に難しい問題だと思うんですね。片や負担が増える、オーガニックを追求すればするほど当然食材費も上がる。その中で、その上がった、上げなくてはいけない分を一般財源で入れるのか。また、今度、学校給食無料化の話も出ています。

他の市町村で、オーガニックを取り入れた学校給食無償化をやっているところがあるのかなのか、そういった調査とかというのをしていますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

オーガニック、県内の状況でございますけれども、本市のようにオーガニックビレッジ宣言等、宣言をして、給食に食材を提供しているというのが、たしか笠間市とうちと常陸大宮市ですかね、あと石岡市とかがございます。その提供の度合いとか数量的なところまでは把握はしてありませんが、その市町村の無償化の実施状況から考えると、石岡市では今無償化をしていますので、そこが今併用になっているかなと考えます。

本市におきましても、第2子以降の無償化、2人目以降を無償化というところも、一部無償化の取組はございますが、そういったところで併用しているところはあるというふうには見てはおります。

○小座野定信委員

オーガニック追求するのもいいんですけども、逆に個人負担が増えれば増えるほど、オーガニック悪と、オーガニックなんかやらなくてもいいのではないかという声が出てくる可能性が大かなと思うんですよ、一般の主婦から。そんなに一般スーパーで売っている野菜が体に悪いのか、子どもたちの成長によくないものがたくさん入っているのかと、そういうふうな極論的な考え方を持つ親御さんまでも増えてくるのではないかなと思うんですね。だから、鶏を取るか、卵を取るか。また両方を取って鳥その

ものを食べてしまうか。そういう選択肢もあるかと思うんです。だから非常に微妙なデリケートな問題かなと思いますね。

だからその辺を一気に、米の値段が上がるから、しかもオーガニックの米を買うしかないから、当然あと300円、1件当たり1か月1,000円増えるよとなったら、700円までは我慢していても、1,000円になったらこれ文句言う、苦情が出ると思うんです。そういうところをちょっとすごくデリケートな部分だと思うので、ただ無償化やって、他の市では給食無償化をやっている、何だよ、かすみがうらは第2子はただだけれども、第1子は、毎月1,000円も1,500円も負担かよと。それだったら、こんなオーガニックなんか要らないんじゃないかという家庭も増えるんじゃないかなと思いますね。その辺どうですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

本当に端的に、値上がりというのは家計の状況に響くと思いますので、そこは各家庭の考え方にもよるかなと思いますが、毎月の1,000円というのは負担は大きいのかなと、それは仮定で、今、仮定の1,000円というのをお話ししましたけれども。まだそこら辺の上げる上げないとかはまだちょっと決定している状況ではないですので、そういったところも考慮しながら給食費の設定とかも注視しながらやっていきたいと考えます。

○小座野定信委員

今、現時点で米の買取り価格はキログラム当たり幾らで買っていますか、オーガニック米ですけれども。一般の米の価格とオーガニック米のこの価格の差というのはどれぐらいありますか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

申し訳ございません。教育委員会のほうとしましては、市の推進協議会からの提供ということで、教育委員会で組んでいる食材費で購入をしていないんです。なので、こちらではオーガニックは、市の推進協議会に提供いただくという、無償なので、その部分は把握しておりません。

○小座野定信委員

それは学校給食費に入っていないということですか。どこから出ているのか、その予算は。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

そちらはオーガニック推進協議会のほうの予算でなっていますので、所管とすれば農林水産課になるかと。

○小座野定信委員

学校給食のオーガニック米とかオーガニックの野菜という、学校給食費の予算には入っていないということですか。

○学校教育課長（斎藤隆男君）

学校給食は、我々が所管している学校給食費の中では購入はしていません。あくまで推進協議会から無償で提供いただいているということです。

○小座野定信委員

ちょっとこれ委員長、そのお金がどこから出ているかということが大事だと思うんですね。だから、いや、これこそ書類作ってきてよ。農林水産課、いないですけども、委員長。農林水産課に、その補助金をもらって、その補助金を使って学校給食に回しているというフローチャートが欲しいな。

○設楽健夫委員長

今、学校給食費、オーガニック推進協議会から学校教育課の給食の費用は、オーガニック米、オーガニック野菜についてはそこから購入していると。オーガニック協議会でどういうふうなフローチャートで整理をしているのかということの資料を提出してくださいということであつたんですけども、それ

はそれで……

[「できるか」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

できるかといっても、ここではできないでしょうよね。農林水産課のほうに打診します。

[「打診じゃなくて委員長命令だ」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

委員長で請求します。

ほかにございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

以上で学校教育課に対する質疑については終了いたします。

暫時休憩とします。午後 2 時 45 分まで休憩にします。 [午後 2 時 24 分]

○設楽健夫委員長

会議を再開いたします。

[午後 2 時 42 分]

それでは、続いて説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○生涯学習課長（山口由晃君）

それでは、生涯学習課の所管分について説明させていただきます。

初めに、歳入についてです。決算書の 25、26 ページをお開きください。

ページの下のほうになります。

14 款使用料及び手数料、1 項使用料のうち、5 目教育使用料、1 節歴史博物館使用料、収入済額 91 万 5460 円です。こちらは歴史博物館の入館料の収入となります。令和 5 年度の決算額に対して 10 万 7970 円の増となっておりますが、主な要因として、特別展や企画展での入館者の増でありまして、令和 6 年度は人気の幕末ものを開催したためでございます。

同じくその下、2 節体育センター使用料から 28 ページの上段、7 節海洋センター使用料につきまして、こちらが市内体育施設使用料の歳入となります。2 節から 7 節までの収入済額が合計が 526 万 1850 円で、前年度と比較いたしますと 7.9% の増となっております。

続きまして、決算書の 37、38 ページをお願いします。

15 款国庫支出金、2 項国庫補助金、7 目教育費国庫補助金、3 節社会教育費補助金、備考欄上から 2 つ目の段になります。収入済額 371 万 7000 円、こちらは国宝重要文化財等保存整備費補助金となります。内訳といたしましては、風返稻荷山古墳出土品再保存修理・支持台製作業務委託として 207 万 3000 円、また、開発行為や住宅建築等に伴う埋蔵文化財の所在の有無の照会申請に対しての試掘調査費用と調査報告書作成に対して 164 万 4000 円の国庫補助金の収入となります。補助率は 2 分の 1 となります。

続きまして、決算書 63、64 ページをお願いします。

備考欄一番上の段の一番下のその他ということで 960 万 7889 円のうちのスポーツ振興担当の部分について、この中でかすみがうらマラソン大会の時間外勤務負担金として 99 万 6490 円、また、プールロッカーの料金として 1 万 4980 円、さらに地域クラブの活動指導者の委託金として、こちらのほうに 82 万 3640 円の収入がありまして、合計 183 万 5110 円となります。

歳入の説明は以上となります。

続きまして、歳出に移らせていただきます。

決算書の233、234ページをお願いします。

こちら学校教育課所管の部分なんですけれども、先ほど歳入のその他の部分で地域部活動の関係で説明をさせていただきましたが、その歳出ということで、中学校部活動支援に要する経費の中段になりますが、12節ということで、地域クラブ活動推進協議会運営委託ということで80万5140円の支出となります。こちらにつきましては、地域クラブ活動指導者の謝金とか指導者研修会参加分の旅費ということで支出をしております。

続きまして、決算書の241、242ページをお願いします。

歳出予算執行状況は16ページ、タブレットの主要事業概要は120ページになります。

歳出予算執行状況16ページの249番、生涯学習推進に要する経費といたしまして、当初予算、予算現額ともに474万円に対しまして、支出済額が397万4946円、執行率は83.86%となっております。

こちら令和5年度の決算額に対しまして125万2968円の減となっておりますが、主な理由といたしましては、令和6年度において会計年度任用職員の雇用条件、こちら週4日から週3日に変更になったことにより、報酬等が不要となったため、減額となっております。

決算書、主な支出といたしましては、1節で社会教育委員報酬37万5000円とありますが、こちらは社会教育委員15名の方に対する会議の出席や県の社会教育委員連絡協議会主催の研修会などの際の報酬として延べ50名分を支出したものととなります。

その下、7節講師謝礼ということで5万6800円、またその下の謝礼ということで26万5500円ありますが、こちらは社会教育担当の子ども大学、大人大学、高齢者大学等における講師謝礼として支払ったものとなります。

その下、10節の印刷製本費35万1384円についてですが、こちらは令和6年度に発行しました講座の募集「マナビイかすみがうら」の前期・後期で各2万6400部の印刷を依頼したものでございます。

続きまして、決算書243、244ページをお願いいたします。

こちら歳出予算執行状況は16ページ、タブレットも同じ120ページとなります。

歳出予算執行状況の16ページの250番、生涯学習市民協働に要する経費、当初予算額、予算現額ともに141万円に対しまして、支出済額が136万9575円、執行率は97.13%となっております。こちら令和5年度と比べまして17万9911円の増となっておりますが、主な理由といたしまして、こちらふれあい生涯学習フェアのほうに業務委託をしておりますが、フェアのほうで会場設営に係る横断幕及びパネル看板作成費等の備品を購入したものであるものでございます。

続きまして、同じく決算書243、244ページになります。

歳出予算執行状況16ページの251番ということで、青少年育成に要する経費、当初予算額、予算現額ともに453万8000円に対しまして、支出済額361万1482円、執行率は79.58%となっております。こちら令和5年度とほぼ同じ額となっておりますが、若干増えている部分につきましては、令和6年度において二十歳の集いの開催会場が旧千代田公民館講堂から下稲吉中学校の新体育館のほうに変更になったことから、会場及び駐車場等における警備業務委託料の増ということでございます。

主な支出といたしましては、7節のほうで青少年相談員謝礼123万3000円につきましては、青少年相談員の謝礼等の支払いとなっております。

またその下、記念品の41万7890円につきましては、二十歳の集いの出席者に対して記念品として集合写真を配布した費用となっております。

その下、12節家庭の教育力充実事業委託金62万4164円につきましては、保育所、保育園、こども園と小学校、中学校、義務教育学校計13の施設に支払った家庭教育の委託料としてでございます。

続きまして、その下、女性団体行政に要する経費といたしまして、こちら歳出予算執行状況、同じ16ページの252番になります。当初予算額、予算現額とも54万円に対しまして、支出54万円ということで執行率100%、こちらにつきましては、地域女性団体連絡会の各女性団体の補助金となります。

続きまして、その下、学校家庭地域の連絡協力推進に要する経費といたしまして、歳出予算執行状況のほうは16ページの253番になります。当初予算額、予算現額ともに91万円に対しまして、支出済額74万480円、執行率は81.37%となっております。こちら令和5年度に対してほぼ同額の支出となっておりますが、主な支出といたしまして、決算書の一番下のところですけれども、放課後子ども教室推進業務委託として、下稲吉中学校区三校連支援ボランティアで20万8341円の支出、またその下、土曜日の教育支援体制等構築業務委託としまして、同じく下稲吉中学校区三校連支援ボランティアが実施しているいなよし学習広場に対して8万578円、また、寺子屋運武館のほうに43万6561円ということで、合わせて51万7139円の支出となっております。

続きまして、決算書は次のページ、245、246ページをお願いいたします。

タブレットのほうは121ページになります。

歳出予算執行状況、16ページの254番、文化芸術振興に要する経費ということで、当初予算額、予算現額ともに142万9000円に対しまして、支出済額110万1062円、執行率は77.05%となっております。こちらは令和5年度に対しまして40万3416円の増となっておりますが、理由といたしまして、湖山の匠登録者3名の方の作品及び活動を紹介するパンフレットを発刊するための印刷代の委託料として21万7250円の支出が主な増の理由となっております。また、同じく18節ということで、文化協会補助金82万7000円の補助をしております。

続きまして、249、250ページになります。

0201図書館運営に要する経費といたしまして、当初予算額2662万1000円、補正予算額16万7000円、予算現額2678万8000円に対しまして、支出済額2586万8766円、執行率は96.57%となっております。令和5年度の決算額に対しまして108万1329円の減となっている主な理由ですけれども、図書システム使用料で同システムの再リースを行ったことにより、支払いが減になったためでございます。

こちらの経費の主な支出といたしまして、図書館協議会委員報酬10万5000円につきましては、協議会委員9名に対する年間の報酬となっております。また、13節で図書システム使用料780万8196円、こちらは図書館システムの年間のリース料となっております。

続きまして、251、252ページをご覧ください。

歳出予算執行状況17ページの264番になりまして、蔵書整備に用する経費、当初予算額、予算現額ともに853万円に対しまして、支出済額844万5837円、執行率は99.01%となっております。こちら令和5年度の決算額に対してほぼ同額となっております。

主な支出といたしましては、10節消耗品につきまして113万7088円支出しておりますが、こちらは図書館が所蔵する雑誌購入費として支出したものととなります。

同じく13節使用料及び賃借料、こちら図書システム使用料308万8579円、令和4年度から運用を開始した電子図書の年間の利用料となっております。

同じく17節図書決算額といたしまして345万6777円、こちらは令和6年度中に購入した図書1,841冊分の購入費用となっております。

続きまして、決算書に記載はありませんが、タブレットの主要事業概要124ページになります。

こちらはブックスタートに要する経費として、令和6年度、予算も支出もございませんが、この事業につきましては、子育て支援の一環として生後1か月から4か月の赤ちゃん訪問の際に絵本の読み聞か

せと本を読むことの大切さを保健師が説明し、本やアドバイス集をパックにして手渡しする事業で、その費用ですけれども、絵本やアドバイス集が在庫がありましたので、令和6年度は予算も支出もなく対応して事業を実施した経緯がございます。

決算書は251、252ページになります。

歳出予算執行状況は17ページの266番、歴史博物館管理運営に要する経費といたしまして、当初予算額2219万4000円、補正予算額23万3000円、流用額22万7000円の減、予算現額2220万円に対しまして、支出済額1908万8323円、執行率は85.98%となっております。

こちら主な支出といたしましては、7節の先人マンガの制作謝礼といたしまして、アニメの原図作成者へ20万円、原図を編集した校正者の方に5万円ということで、合わせて25万円の支出をしております。

また、同じく7節の協力員謝礼ということで、古文書を中心とした資料整理の謝礼として1名分へ支払った89万4825円でございます。

次のページの253、254ページをお願いいたします。

上段のほう、10節の印刷製本費134万4420円となります。こちらは特別展及び企画展開催に伴うポスター印刷、展示会解説書及び御城印の印刷代として支払ったものになります。

その下、中段になりますが、12節燻蒸処理作業委託ということで60万5000円、こちらは民具、古文書など博物館資料の燻蒸処理作業委託料として支払ったものとなります。

続きまして、255、256ページをお願いいたします。

歳出予算執行状況は17ページの267番となります。

富士見塚古墳公園管理運営に要する経費、当初予算額553万4000円、補正予算額48万9000円、流用額20万3000円の減、予算現額582万円に対しまして、支出済額が505万6570円、執行率が86.88%となっております。こちら令和5年度の決算額に対しまして47万3780円の減となっておりますが、こちら令和5年度末に土地を、1つ、ゴルフ場に返還したことによる減のためとなっております。

また、主な支出といたしましては、12節の公園管理委託ということで、令和6年度は340万7268円、管理人として受付管理を委託していたものがありますので、そちらをシルバー人材センターへ支払ったものとなっております。

続きまして、同じくその下になります。

歳出予算執行状況は17ページの268番、文化財保護に要する経費、当初予算額、予算現額ともに785万5000円に対しまして、支出済額694万2271円、執行率は88.38%となっております。こちら令和5年度決算額に対しまして321万3960円の増となっておりますが、令和6年度に風返稲荷山古墳出土品再保存修理・支持台製作業務委託を401万3845円の支出があったためでございます。

また、こちらの経費の主な支出といたしまして、7節の文化財管理謝礼73万5000円、こちらは文化財公開謝礼26件、また文化財管理の謝礼14件に対する謝礼として支払ったものとなっております。

続きまして、決算書257、258ページをお願いいたします。

歳出予算執行状況は17ページの269番、埋蔵文化財に要する経費、当初予算額649万4000円、補正予算額82万8000円、流用額109万2000円、予算現額841万4000円に対しまして、支出済額824万7832円、執行率は98.03%となっております。こちら令和5年度の決算額に対しまして262万9654円の増となっておりますが、こちら令和6年度、やはり太陽光発電施設設置工事に伴う試掘作業用重機借上料の増ということで、かなり増えた状況でございます。

主な支出は、今説明した内容と関連しておりますが、7節の試掘調査員、協力員謝礼ということで、試掘が多くなったことも含めまして、こちら遺跡の試掘調査及び出土品の整理作業に対する謝礼として

11名、支払った261万1490円でございます。

また、先ほども説明させていただきましたが、13節試掘作業用重機借上料ということで258万6100円、こちら令和6年度は試掘作業の掘削作業35回の借り上げ料として支払ったものとなります。

同じく決算書は257、258ページとなります。

歳出予算執行状況17ページの270番、ジオパーク推進に要する経費、当初予算額、予算現額ともに157万4000円に対しまして、支出済額89万4237円、執行率は56.81%となっております。こちら令和5年度の決算額に対しまして23万2799円の減となっている理由ですが、都合により、日程の関係ですけれども、全国大会へ参加しなかったことや、PRグッズを作成しておりますけれども、安く作成ができたということで執行率も低くなっている状況でございます。

続きまして、今度259、260ページ、決算書お願いいたします。

歳出予算執行状況18ページの273番、かすみがうらマラソン大会開催に要する経費、当初予算額、予算現額ともに300万円に対しまして、支出済額300万円、執行率100%でございます。こちらはかすみがうらマラソン大会に係る運営費として、実行委員会の補助金として支出したものでございます。

同じく決算書は259、260ページ、歳出予算執行状況につきましては18ページの274番、市民ふれあいスポーツ推進に要する経費、当初予算額、予算現額ともに286万3000円に対しまして支出済額228万9274円、執行率が79.96%となっております。こちら令和5年度の決算額に対しまして34万3026円の減となっておりますが、主な理由といたしましては、ジュニアスイミング教室につきましては、令和5年度まで千代田地区と霞ヶ浦地区の2か所で開催しておりましたが、令和6年度より千代田海洋センタープール1か所で開催したことにより講師謝礼が減ったためでございます。

主な支出といたしましては、12節市民協働スポーツ推進事業委託費といたしまして、総合型地域スポーツクラブへ25万円、同じく12節の海洋クラブ事業運営委託費といたしまして、海洋クラブへ15万円の支出をしております。

続きまして、決算書261、262ページをお願いいたします。

歳出予算執行状況は18ページの275番、スポーツ団体育成に要する経費、当初予算額、予算現額ともに581万6000円に対しまして、支出済額499万8333円、執行率は85.94%となっております。こちら令和5年度の決算額に対しまして130万4913円の減でございますが、主な理由につきましては、会計年度任用職員の雇用変更、こちらも週4日から週3日に変更したことに伴い、報酬等が減となったものでございます。

主な支出といたしましては、7節のスポーツ推進員謝礼102万5500円のほか、12節のスポーツ少年団球技大会委託費の45万円がございます。こちらの内容につきましては、スポーツ少年団加盟団体が主催する市長杯大会への委託事業費となっております。

また、18節の市スポーツ協会補助金といたしまして222万4700円、補助をしております。

同じく261ページ、262ページをお願いします。

歳出予算執行状況は18ページの276番、体育センター管理運営に要する経費から決算書の265、266ページ、歳出予算執行状況は18ページの281番、（仮称）スポーツ公園管理運営に要する経費までが体育施設の運営事業費となっております。こちらについては、体育センター、わかぐり運動公園、多目的運動広場、戸沢公園運動広場、第1常陸野公園、（仮称）スポーツ公園の6か所の支出の合計の支出済額として1億3024万5974円でございます。

主なものにつきましては、歳出予算執行状況の18ページの276番、体育センターにつきましては当初予算額295万8000円、流用額19万1000円、予算現額314万9000円に対して、支出済額は313万8068円、執行率は99.65%です。この流用に対しましては、光熱水費が不足したことから、後で説明しますが、多目的運

動広場から流用しております。

続きまして、わかぐり運動公園につきましては、当初予算が2587万8000円、繰越額313万5000円、予算現額2901万3000円に對しまして、支出済額2791万603円、執行率は96.2%でございます。こちらの繰越しにつきましては、高圧受電設備の敷設及び更新工事ということで、令和5年度に予定しておりましたが、能登地震の関係もありまして、部品と人がいないということもありまして、令和6年度に繰越しをさせていただきまして、工事をした経緯がございます。

続きまして、多目的運動広場につきましては、当初予算額3574万円、流用額19万1000円の減、予算現額は3554万9000円に對しまして、支出済額3370万6562円、執行率は94.82%でございます。

同じく戸沢公園運動広場につきましては、当初予算額、予算現額ともに1342万3000円に對しまして、支出済額1242万9191円、執行率は92.6%となっております。

さらに第1常陸野公園は、当初予算額4112万1000円に對しまして、補正額112万9000円の減、予算現額3999万2000円に對しまして3845万5862円、執行率96.16%でございます。この補正の減額につきましては、高圧受電の工事差金ということで減額をさせていただいております。

最後、（仮称）スポーツ公園につきましては、当初予算額2212万4000円、補正額693万円の減、予算現額1519万4000円に對しまして、支出済額1460万5688円、執行率96.13%でございます。こちらの補正の減額につきましては、境界確定測量の委託料の差金ということで、減額をさせていただいております。

各施設の主な支出につきましては、緑地部分の施設管理委託料をはじめシルバー人材センターへ委託しております受付窓口業務及び清掃の管理業務委託料、また、土地借上料や光熱水費、施設修繕料などへの支出となっております。主な修繕と工事を含めてのみ説明をさせていただきます。

決算書264ページの上段になります。

こちらわかぐり運動公園管理運営の経費でございますけれども、14節、先ほど説明させていただきましたが、繰越しさせていただいた高圧受電設備の改修工事ということで、高圧受電敷設替え及び更新工事ということで実施しております。

その下、多目的運動広場管理運営に要する経費のうち、こちらも14節ナイター照明設備撤去工事92万4000円につきましては、ナイター照明設備の撤去処分ということで、水銀灯のみの撤去になりますが、20灯掛ける6基ということで、3灯脱落していた部分がありますので、117灯の撤去処分という経費となっております。

同じくその下の第1常陸野公園管理運営に要する経費のうち、すみません、266ページになります、14節の、こちらもわかぐりと同じですけれども、高圧の受電設備改修工事ということで342万4300円。

また、最後になりますが、スポーツ公園管理運営に要する経費のうち、12節境界確定測量業務委託として657万8000円、さらに第2常陸野公園内物品等移設撤去処分業務委託ということで299万2000円ということで、第2常陸野公園内にある物品等の移設撤去処分をした費用となっております。

以上が生涯学習課所管に係る歳入歳出予算の説明でございます。よろしくお願いいたします。

○設楽健夫委員長

説明が終わりました。

質疑につきましては、挙手をもって発言をお願いします。

○矢口龍人委員

今の説明もそうなんですけれども、説明の時間が長過ぎます。これ、30分やっているんだよね。そうすると、これだけで、2課だけで1時間やっているんですよ。そうすると審議時間がほとんどないんですよ。この後も、今から、市民部だって、これ4課あるのに、これ30分ずつやったらとてもじゃないけ

れども終わらない、もう時間、20分ぐらいに縮めていただいて、それで審議したほうがいいと私は思うんですけども、ご提案させていただきます。

○設楽健夫委員長

説明者のほうに求めますけれども、今、もう少し短縮してくださいという話がありましたけれども、次の説明者につきましても、その点については工夫をお願いします。

○小座野定信委員

大きな予算の動きと、あと差額の大きいやつとか、そういうやつだよな。

○矢口龍人委員

質問するんだから、分からないところは。質問すればいいんだから、分からなかったところを。

○設楽健夫委員長

質疑を求めます。

○佐藤文雄委員

(仮称) スポーツ公園管理運営に要する経費の件は、これはエバラの件ですか。これはエバラに賃借するという予定で、全ての施設を撤去したと。あと、境界とかそういうことも含めて業務委託をして、境界線をはっきりさせたということでしょうか。

○生涯学習課長(山口由晃君)

第2常陸野公園の経費で、そのとおりでございます。

○佐藤文雄委員

これ生涯学習課の会計年度任用職員を4名から3名にしたというのが2か所ありましたよね。スポーツ団体の育成に関するのが1つと、もう一つが生涯学習課、これ4日間から3日間。これは仕事が減ったということですか。予算が減った。仕事が減ったということなのですか。

○生涯学習課長(山口由晃君)

すみません、4人から3人ということではなくて……

○佐藤文雄委員

時間が、4日から3日になったから、仕事が減ったのかと。

○生涯学習課長(山口由晃君)

仕事が減ったわけではございません。その中でやっているような状況でございます。

○佐藤文雄委員

仕事が減らないで、4日を3日にしてやれたということは、どういうことですか、これ。今まで楽しんでいたと。いや、仕事が増えていない、でも4日を3日にした。これができると。何かちょっとよく分からないですね、説明としては。何でそういうふうにしたのか。

○生涯学習課長(山口由晃君)

仕事が減ったということではなくて、当然その分、業務量は増えておりますが、正直、何とかやりくりしているような状況でございます。

○佐藤文雄委員

いや、実は、今年度の予算に関係しているのよ。図書司書が今までも通常業務なのに日にちが減ったということを私、訴えがあったんですよ。これは図書司書ですよ。これが同じようにスポーツ振興課についても、この今言った生涯学習課についても、同じように仕事量が減ってもいないのに減らされたというと、会計年度任用職員の人は、そんなに高いお金で雇われているわけじゃないのに、これまづいんじゃないですか。そういうことを減らす理由があるんじゃないのか。例えば上から減らせと、4日を3

日にしろというふうに言われたんですか。そこら辺が分からないのよ。何で簡単に4日を3日したか、仕事量は減りませんと。そうしたら、ほかの職員だって同じだよ。今の職員だって、仕事は増えない、もっと減らせということになっちゃうんじゃないですか。だから、こういう問題が一つ一つ、人件費の問題に大きく関わってくるんですよ。また、働いている人も、いわゆるワーキングプアにされているということに問題があるんですよ。ワーキングプア、いわゆる官製ワーキングプアになっちゃうんです、これ。そこを問題視しているんです、私。いかがですか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

減った理由といたしましては、財政との交渉の部分があるんですけども、ということが現状のところでございます。

○櫻井繁行委員

体育施設管理運営事業のところ、6か所、課長のほうからご説明いただいていますけれども、これ評価シートのK P Iを確認すると、令和6年度、借地の買取り、または返還ということで目標を4か所に掲げてて実績2か所というふうにあるんですけども、これちょっとご説明いただけますか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

こちら2か所という数字が入っているかと思うんですが、第2常陸野公園の二筆を購入したものになります。令和4年度に購入した実績がそのまま数字が入っているような状況でございます。累計で入っております。

○櫻井繁行委員

そうすると、これ令和4年度に第2常陸野公園はたしか購入をされていて、それを、ずっとこのK P Iというのは実績として、何かそのまま2か所というのが二筆分ということでずっと継続して残しておくというような感覚なんですか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

そういうことで残してあるような状況でございます。

○櫻井繁行委員

これちょっと書き方の問題かもしれませんが、やっぱり僕たち、決算というのは単年度で確認していくわけじゃないですか。何かこれを見るとあたかも令和5年度、2か所、令和6年度も2か所ということで、買取りか返還が2か所ずつ単年度で行われたのかなというような見方をしてしまうので、書き方というのはもう少し修正をいただきたいのと、これは目標についても、令和5年度は3か所、令和6年度は4か所、令和7年度は5か所というふうに上がっていますけれども、こういったところもどういうふうなお考えで明記をされているのかというのを伺いたいんですが。

○生涯学習課長（山口由晃君）

ちょっと書き方については、経営企画課が作っているシートでもありますので、検討する余地はあるかと思うんですが、この数字の3、4、5というふうに上がっていることに関しましては、買取りということよりは返還ということを見据えて、借地が多いですので、施設の統廃合も含めて、そういう意味で数字が増えているような、目標として数字を増やしているような状況でございます。

○櫻井繁行委員

何か、そうなんですよ。これ書き方の問題。経営企画課というお話ありますけれども、実際これを打ち込むのは担当課でしょうから。そもそものこのシートのレイアウトを僕指摘しているわけじゃなくて、何でこれが要は毎年度1つずつ目標が上がっていくのかという、根拠もちょっと不明確ですし、もっというと、この科目に対しての買取りと返還というのが何か一緒になっている目標というの何かお

かしな気がするんですけども、そういったところを簡潔にご説明いただけますか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

申し訳ありません。その表のところで単位と書いてあるんですけども、累計と入れちゃっていますので、累計を消して、今、櫻井繁行委員おっしゃったように、年度ごとに数字を入れていくという方法でやっていったらいいかなとちょっと思っております。

○櫻井繁行委員

ぜひ少し分かりやすく、また来年度、この令和7年度の決算、今の時期あるでしょうから、そのときには、このシートを少し改善していただきたいのと、やはりこの目標が、1つずつ何か考え方がすごく安直に感じてしまうんですね。このエビデンスみたいなものもあればお伺いしたいんですけども、なければ、一緒にこういうところも修正をしていただいて、しっかり目標に対しての実績という形を取っていただきたいと思うんですが、いかがですか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

櫻井繁行委員おっしゃるように、特に今後検討させていただいて、数字のほうはさせていただきたいと思います。

○佐藤文雄委員

16ページの説明書きの253と254なんですけど、令和5年度と同額ですと。結果的に執行率が低くなっていますよね。ということは、予算を立てるときにもっとかかるんだろうと思って予算を立てたということになりますよね。言いませんでしたか、令和5年度と大体同額ですと。これ放課後教室推進業務委託、土曜日の教育支援体制等構築業務委託、非常に何か家庭のこういう連携の協力、大事だと思うんですけども、これ予算を増やしたんですよね。でも、執行が悪かったという結果になるんじゃないですか。同等と言いませんでしたか。ここら辺が分からないですね。これ結果的に執行率が悪いということは、予算はもっと充実させようと思ったんじゃないですか。文化芸術も同じですよ。同等だと言っていましたよ。いかがですか。同等と言ったよね、令和5年度と。

○生涯学習課長（山口由晃君）

こちらにつきましては、主に学校、家庭、地域の連携協力ということで、下稲吉中学校区三校連支援ボランティアと霞ヶ浦中学校区のほうは寺子屋運武館なんですけれども、そちらのほうに事業委託しております。例年予定している事業でできなかったものも当然あるかと思うんですが、その辺も含めて同等の予算を組んで、決算について同額だったということで、執行率は低くなったということもありますけれども、委託先のほうの事業計画にのっとってやっている部分があります。

○佐藤文雄委員

だから、委託先が、要望が令和6年度の予算は多かった。結果的に令和5年度と同じ中身だったということなんですね。そういう説明ですね。であれば、そういう説明をしたほうがいいんじゃないですか。何か令和5年度と同等だったということになると、これなぜ低くなったのかと。低くなったことをきちっと言わなきゃいけないと思うんですよ。そうすると逆に予算要望している三校連かなんか知りませんが、そこに聞き取りをしましたか。結果的になぜそうなったんですかと。これだけの計画をしたけれども、その分の計画よりも8割ぐらいしかできなかったよということだって、それ聞き取りしていますか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

団体のほうには聞き取りをしております。毎月会議がありますので、そのときに職員が出て、打合せをしたり調整をしたりしておりますので、その中で聞き取りをさせていただいて、実施をしていただいておりますが、実際結果としては予定よりできなかった部分があったということでございます。

○佐藤文雄委員

文化芸術もそうですね、じゃ中身は。文化芸術振興、77.……、これも同じだもんね。だから、それ、安直に、予算化したのに、すみません、できませんでしたというんじゃないじゃないんですか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

文化芸術振興に要する経費につきましては、すみません、先ほど令和5年度の決算額に対して40万3416円の増ということで一応説明をさせていただいて、こちらは湖山の匠登録者3名の方がいましたので、そちらのパンフレットを作成するために増となったということで説明をさせていただいております。違うところですかね。

○佐藤文雄委員

その聞き方の問題があったと思いますけれども、令和5年度の同額だと。パンフレットの話は聞きましたよ、聞いたけれども、令和5年度と同額だったと言ったんですよ。だから、最初の予算の立て方の問題があるんじゃないですか。それは聞き取りをしましたかといったら、三校連のほうは言ったけれども、こちらのほうはパンフレットを作ったけれども、結果的には令和5年度と同じだったということでしょう。予算の執行は77.05%ですよ。そこをもうちょっと説明してもらえますか。

○生涯学習課長（山口由晃君）

申し訳ありません。そちらにつきましては、消耗品で予算を組んでいたところがありまして、22万円余った部分がありますので、そういうことでございます。

○佐藤文雄委員

分かりました。ちゃんと言ってよ。

○櫻井健一委員

主要事業概要のところでは124ページのブックスタートのところなんですけれども、ここは去年の在庫があって、今年は経費を使わなかったという説明がございましたが、在庫ができてしまった要因と、あと、何年分ぐらいの在庫が残ってしまっているかという2点をお伺いしたいんですが。

○生涯学習課長（山口由晃君）

ブックスタート事業に関する在庫のご質問ですけれども、そちらにつきましては、まずそもそもちょっと初めの発注が多かった部分もありますけれども、子どもも少ないということもあります。先ほども説明させていただきましたが、生後1か月から4か月の赤ちゃん訪問の際に読み聞かせの本をということでお渡ししております。在庫に関しましては、今年度の令和7年7月の段階で、今現在226冊あります。

○櫻井健一委員

渡したのにもう要らないとか、そういう拒否があったとかそういうことではなくて、ただ部数多く発行したというだけで、事業自体は必要な事業であるというような解釈でよろしいですね。

○生涯学習課長（山口由晃君）

基本的に皆さんにお渡ししておりますので、必要な事業だと考えております。

○櫻井繁行委員

参考資料をつけていただいて、非常に分かりやすく、利用状況も分かってありがたかったんですけども、1点、この市内と市外の件数の内訳という、体育施設の使用料収入に伴うという資料があると思うんですよね。その中の、これは戸沢公園運動広場に関しては、市内の利用者と市外の利用者が逆転をしているような状況にあると思うんですけども、使用料を確認すると、市内の使用料のほうが収入として多いんですよね。何かちょっとここのご説明をいただきたいんですが、お願いいたします。

○生涯学習課長（山口由晃君）

申し訳ありません。ご指摘いただいて、ちょっと今詳細が分からないので、後で、申し訳ありません。確かにちょっと見た感じ、後で報告します。

○櫻井繁行委員

それでは、参考資料、添付資料をもう一度よくご確認をいただいて、修正したものをよろしく願いいたします。

○生涯学習課長（山口由晃君）

確認させていただいて、中身、そのようにさせていただきます。

○佐藤文雄委員

歴史博物館、収入で結構入館料が多かったと言っていましたよね。その割には執行率が悪いんですが、何かありますか、85.98%ですか。何かあったのかなと思って。

○生涯学習課長（山口由晃君）

需用費の部分で、支出が少なかったということでございます。

○佐藤文雄委員

どういう需用費か。ちゃんと言わなくちゃ、需用を。

○生涯学習課長（山口由晃君）

申し訳ありません。消耗品や燃料費、博物館はA重油を使ったり、あと公用車のガソリン代とか、そういうものの支出が少なかったということでございます。

○設楽健夫委員長

ほかにございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

質疑を終結いたします。

次に、議案第73号のうち、市民部の所管に関わる部分を議題といたします。

説明を求めます。

○市民部長（岩井雄一郎君）

それでは、地域コミュニティ課所管の決算につきまして、松延課長からご説明いたします。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

それでは、地域コミュニティ課所管分の決算についてご説明いたします。

初めに、歳入からご説明いたします。

決算書のほう31、32ページをお願いいたします。

15款2項1目1節の備考欄5段目、地域少子化対策重点推進交付金69万6000円は、飛びますが、歳出のほう99、100ページの備考欄中段の移住定住・結婚支援に要する経費の結婚新生活支援事業補助金に充当してございます。

続きまして、決算書39、40ページ、16款2項1目1節の地方創生移住支援等補助金45万円は、歳出のほうになりますが、99、100ページ、同じく備考欄中段の移住定住・結婚支援に要する経費のわくわく茨城移住支援金のほうに充当となります。

続きまして、51、52ページをお願いいたします。

19款1項4目1節のまちづくりファンド助成事業233万5000円は、歳出の同じく99、100ページ上から2段目のまちづくりファンド助成事業補助金に全額を充当してございます。

最後に、59、60ページをお願いいたします。

21款5項6目1節、備考欄上から6番目の自治総合センターコミュニティ助成金380万円のうち180万円の分につきまして、歳出の97、98ページ、備考欄上から4段目の自治総合センターコミュニティ助成金で全額を支出しております。これは、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献事業として、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動に対して支援するものでございまして、令和6年度は、柏崎行政区の集会施設の備品に助成をさせていただいております。

歳入については以上になります。

続いて歳出について説明させていただきます。

決算書85、86ページ、歳出予算執行状況は2ページのナンバー28になります。

2款1項5目02庁舎等財産管理事業のうち、0203旧小学校施設管理に要する経費につきまして、旧志士庫小学校の特別教室等及びランチルームを改修するための設計業務委託のほうに273万7075円、補正予算により、改修工事に4649万7000円を支出してございます。地域の皆様を中心に幅広く利用いただける志士庫コミュニティステーションとして4月から供用を始めております。

なお、予備費98万8000円につきましては、当該設計業務委託において増額の変更契約が生じたため充用をさせていただいております。

次に、決算書95、96ページ、歳出予算執行状況は3ページをお願いいたします。

タブレットパソコンの主要事業概要のほうは66ページになります。

8目01生活安全対策事業、0102地域安全対策に要する経費のうち、地域コミュニティ課では空き家対策の事業を実施しておりまして、空家解体撤去補助金を当初予算200万円に対し、182万1000円支出しております。管理不全空き家でありまして、周辺に悪影響が及ぶおそれのある物件の所有者に対して解体撤去を促し、もって地域の安全・安心の確保と宅地の再生を図ることを目的として実施しているもので、令和6年度は合計4件の解体撤去に助成をさせていただいております。

続いて、決算書95ページから98ページにかけて、タブレットパソコンの主要事業概要は71ページとなります。

9目01自治振興事業の0101自治振興に要する経費ですが、当初予算額1996万4000円、繰越額5936万4700円、予算現額7932万8700円に対し、執行額が6837万4290円、執行率は86.19%です。

主な支出として、行政区長への活動謝金907万円、行政区の活動や行事で発生した事故により被った損害に保険金を交付する自治会活動賠償責任保険193万8290円、また、委託料としまして、株式会社アーキビジョンホールディングスから企業版ふるさと納税として寄贈を受けたムービングハウスの運搬設置業務の委託料に439万5985円、行政区への文書配布委託料として575万8500円、さらに下大津コミュニティステーションの整備のための工事請負費として、当該ハウスの基礎の敷設や建物内部の造作、駐車スペース等の外構工事に4394万5000円を支出してございます。

続きまして、決算書97、98ページ、0103千代田公民館移転に要する経費ですが、繰越額及び予算現額5573万2936円に対し、執行額が5405万1995円、執行率96.98%です。旧志筑小学校の用途を変更し、コミュニティ施設として整備するための改修等に必要な業務委託料や請負工事費となります。

主な支出としましては、千代田公民館からの什器等の移動に伴う作業委託128万7165円、駐車場の整備や排煙サッシ、自家発電設備の設置など、外構等整備工事として4865万500円を支出しております。

次に、97ページから100ページにかけてですが、02市民協働事業の0201市民活動支援に要する経費ですが、タブレットパソコンの主要事業概要は72ページになります。

こちら72ページのほう、1点訂正させていただければと思います。

一番下の段の指標のところをご覧ください、2つ目の多文化共生に関する取組回数のところの令和7年度の目標値が0回となつてございますが、申し訳ございません、これを10回のほうに訂正させていただきます。令和6年度と同様の令和7年度の目標値として10回ということで訂正をさせていただきたいと思います。申し訳ございません。

当初予算額、予算現額とも同額の609万2000円に対し、執行額が584万5000円、執行率95.95%となります。

決算書100ページ備考欄1段目の緑化推進協議会補助金350万円につきましては、花いっぱい事業として、地域の集会施設等への花苗の配布と花の道の花壇管理に利用されております。

また、2段目のまちづくりファンド助成事業補助金233万5000円では、五反田地区維持管理組合へ千代田コミュニティセンターの花壇管理ボランティアのための備品購入21万2000円、志筑地区イノベーション組合へコミュニティマーケットの開催支援に177万1000円、下大津の桜保存会に対して、花壇整備、下大津コミュニティステーション館内の展示ブース整備等のために35万2000円をそれぞれ支出してございます。詳細は決算審査関係資料の1ページにございます。ご覧いただければと思います。

次に、決算書99、100ページ、タブレットパソコンの主要事業概要は73ページになります。

03移住定住促進事業の0301移住定住・結婚支援に要する経費では、当初予算額435万9000円、予算現額265万2000円に対して執行額211万3300円、執行率79.69%です。移住希望者受入れ促進のための支援金制度等を運用してございます。支出としまして、わくわく茨城移住支援金60万円、結婚新生活支援事業補助金139万3000円などです。

次に、同じく決算書99、100ページ、04コミュニティ施設管理事業は、霞ヶ浦、千代田、下稲吉の各中学校区ごとに設置されたコミュニティセンターと旧小学校区ごとに設置を推進しているコミュニティステーション4か所の維持管理事業となります。

まず0401霞ヶ浦コミュニティセンター管理に要する経費では、当初予算額1億966万1000円、補正予算額マイナス1796万7000円、予算現額9169万4000円に対して執行額8693万7666円、執行率94.81%となりました。主な支出としましては、空調設備改修実施設計業務委託に1525万7000円、また、決算書のほう101、102ページになります。浴室壁面からの漏水原因の特定とその修繕の概算費用を求めるための調査業務委託に165万円などとなります。

なお、1796万7000円の減額補正予算でございますけれども、こちらは霞ヶ浦コミュニティセンターの浴室施設の休止に伴う燃料費及び光熱水費等の減額が主な理由となります。

続いて決算書101ページから104ページにかけて、0402千代田コミュニティセンター管理に要する経費でございます。歳出予算執行状況は4ページになります。

当初予算額1782万8000円、予算現額1709万2000円に対して執行額1551万8759円、執行率90.8%となりました。行政組織の改編に伴いまして教育委員会が同センターに移転となったことから、電話回線の移転工事として139万400円を支出しております。

最後に、決算書245から248ページ、歳出予算執行状況は、飛びますが、17ページのナンバー256から261まで、タブレットの主要事業概要は74、75ページになります。

10款4項2目03公民館活動推進事業につきましては、霞ヶ浦、千代田、下稲吉それぞれの公民館講座に要する経費で、公民館講座や講演会等を企画実施するものです。また、04公民館コミュニティ形成事業では、これらの公民館において、公民館役員が中心となりまして、幅広い年齢層の住民が交流・参加できるよう移動講座、ハイキング、夏祭り、球技大会などの事業を企画運営する事業になります。

このうち0301霞ヶ浦公民館講座に要する経費ですが、当初予算額2537万6000円、補正予算額マイナス

1410万円、予算現額1154万6000円に対して執行額885万4円、執行率は76.65%となりました。主な支出としまして、視聴覚室のLED化工事設計業務委託81万4000円及び工事請負費562万6500円を執行しております。

なお、1410万円の減額補正予算でございますけれども、主に視聴覚室LED照明器具更新工事の内容を見直したことによりまして、大幅に予定価格が下がったことによるものでございます。

○設楽健夫委員長

ありがとうございます。

それでは、質疑に入ります。挙手の上、発言を求めます。

○櫻井繁行委員

お疲れさまです。

参考資料をつけていただいて、空き家と空き地バンクの登録状況を確認させていただきました。令和6年度としては、新規登録が6件あったということで、積極的に取り組まれたと思うんですが、この年度別登録件数と年度末登録件数という書き方があるんですが、ちょっとご説明をいただければと思います。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

お答えいたします。

年度別登録件数につきましては、単純にその年度中の新規登録数に対しまして成立件数、新規登録したうちの成立、売買、それから賃貸が成立した件数と抹消や取下げになった件数を差し引いたものがその年度別の登録件数ということになります。年度末登録件数は、各年度3月31日、年度末現在で登録の残った件数ということになります。

○櫻井繁行委員

分かりました。年度末登録件数については延べ実数というか、そういった考えということですね。理解をいたしました。

それと、移住定住・結婚支援に要する経費のところなんですけれども、これ当初予算としても令和6年度、10分の1の当初予算になっていますから、目標に対して実績というところがシンプルに10分の1というような考え方なんだろうけれども、そうはいつでも目標に対して実績11名と、しっかりと目標はクリアしているように思えるんですが、予算が本当10分の1に削減をされた中で、令和6年度通して、この移住定住・結婚支援事業というのは非常に若者の支援というところでも大事だと思うんですが、果たして予算執行していく中で、これだけの予算で足りていたのか。それとも、こういった声が現場で聞こえたのかお尋ねしたいんですが。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

お答えいたします。

まず、令和5年度の決算額から令和6年度に対してかなり減額になっている要因でございますけれども、これは令和5年度まで市の単独事業で移住促進住宅取得支援事業という事業がございました。これは他市町村からかすみがうら市内に住宅を購入して移住してくる方に市の単独事業として、住宅の購入等に対する助成、それを実施してまいりました。それが単費で2000万円近く確保させていただいていたところなんですけれども、令和6年度からその事業が廃止になりまして、大幅に予算が減額になっているということでございます。

残った事業に関しましては、先ほど申し上げたように県単の補助事業でありますわくわく茨城生活実現事業と国補事業であります結婚新生活支援事業、この2本ということになりましたので、そちらの事

業を積極的に推進し、実績としましては、令和6年度11名の移住定住者を確保したという状況でございます。

○櫻井繁行委員

予算が10分の1ということでしょうからそうなんですけれども、令和6年度、現場で担当されていて、この結果を見るとですよ、予算が10分の1、決算も10分の1になっていますけれども、裏を返すと90名ぐらいの方がこの支援策を使えなかったのではないかという見方もできると思うんですよね。かすみがうら市に移住定住をしたくても、この支援策が使えなくて予算もアップーなので、これ以上は支援策ございませんというような例があったのかなというところが心配だったんですけれども、そういったところはどのようにお考えですか。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

お答えいたします。

ご指摘いただいたとおりの部分がございます。ただ、こちらの事業、実績を精査してみますと、この事業がインセンティブになって移住を考えてくださる方もいらっしゃる、そういった方もいらっしゃる中で、逆に移住がもともと決まっていた、この事業を知ったので申請したという方のほうも一定数いらっしゃったというふうな状況がございました。もう一点申し上げますと、令和4年度まではコロナの臨時特例の交付金をこの事業に特別財源として充てておりまして、それが令和5年度から切れたということがあります。令和5年度は実際、単独事業として実施したんですけれども、そういった状況。この事業があったから移住してきたというよりは、移住がもともと決まっていた、事業があるんだねということで利用された方も一定数いらっしゃったということがあって、一つは目的を達成したというところと、もう一つはそういった面も加味して精査した結果、予算が削られてしまったという状況でございます。

○櫻井繁行委員

令和6年度として総括いただいたんですが、制度設計上、予算が削減しているので致し方ないというところはあるかもしれませんが、令和7年度はもう当初予算を通して始まっていますけれども、今後もしっかりと見守っていきたいと思います。いい事業なので、しっかりと積極的に今後も取り組んでいただきたいと思います。

○設楽健夫委員長

そのほかございますか。

○鈴木貞行委員

決算書96ページの空家解体撤去補助金182万1000円ということで4件、解体実施したということなんですけれども、申込総数というのは4件だったんでしょうか。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

4件でございます。

○鈴木貞行委員

もし仮に4件以上あった場合、その場合の選択基準というか、危険度とかいろいろあると思うんですけれども、先着順とか。それはどういうふうにやっているんでしょうか。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

基本的には先着順で執行していくような状況でございます。

○鈴木貞行委員

それで今回4件ということで、大変撤去も高くなって、ありがたいと思うんですが、これは本人からの申請なのか、または住民からの要望で防犯上とか、あとは獣とかそういうので危ないからどうにか撤

去するように願いますと、持ち主に相談をかけてやったのか、どちらなのかなと思ひまして。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

お答えいたします。

執行は当然、地権者、所有者の申請によるものにはなります。ただ、その前段として、管理不全の空き家であつて、周囲に悪影響を及ぼす可能性のある空き家が対象となつてまいりますので、それ以前に地域の方から何らかの苦情なりをいただいた段階で、空き家の特措法に基づきまして市のほうで指導助言を行ひまして、その結果、建物の所有者の方から、じゃ解体撤去の補助金を使ひたいというふうな申出があつたと、そういうケースがほとんどでございます。

○鈴木貞行委員

大変いい補助金だと思うんですけども、令和7年度は減額されたと思ひましたけれども、100万円ですごくよかったんですか。

○地域コミュニティ課長（松延克彦君）

令和7年度は150万円でございます。

○鈴木貞行委員

ありがとうございます。

○設楽健夫委員長

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

これで質疑を終結いたします。

それでは、一旦休憩に入ります。

午後4時15分から再開いたしますので、よろしく願ひします。〔午後 4時05分〕

○設楽健夫委員長

会議を再開いたします。〔午後 4時12分〕

それでは、続いて説明を求めます。

説明は簡潔に願ひいたします。

○市民課長（小池陽子君）

それでは、議案第73号 令和6年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、市民課所管分につきましてご説明いたします。

初めに、歳入からご説明いたします。

決算書31、32ページをお開きください。

15款2項1目1節総務費補助金の備考欄2段目になります。社会保障税・番号制度システム整備費補助金（総務省）1157万6000円のうち770万円につきましては、住民基本台帳システム標準化に伴うシステム改修経費の補助金となっております。補助率は国10分の10です。

次に、その下、マイナンバーカード交付事務費補助金1592万円は、マイナンバーカードの申請受付及び交付に係る職員人件費や消耗品費、郵送料等の事務経費が対象となっている補助金です。補助率は同じく国10分の10です。

次に、そこから3段下になります。社会保障・税番号制度システム整備費補助金（法務省）452万1000円は、戸籍システム標準化に伴うシステム改修経費の補助金となっております。補助率は同じく国10分の10です。

歳入につきましては以上となります。

続きまして、歳出における主な事業につきましてご説明いたします。

決算書は109、110ページをお開きください。

歳出予算執行状況は4ページ、59番、戸籍事務に要する経費となります。なお、タブレット端末の主要事業概要は76ページになります。

決算書109、110ページ下段です。

2款3項1目戸籍住民基本台帳費、02戸籍住民基本台帳等事業のうち、0201戸籍事務に要する経費1951万9938円です。当初予算1647万4000円、繰越補正によりまして予算現額2771万5000円に対して執行額が1951万9938円で、執行率は70.43%です。

主な内容は112ページ上から5段目になります。

12節戸籍情報システム改修委託672万1000円です。こちらは戸籍の振り仮名記載に係るシステム改修委託です。

また、そこから4段下になります。

13節戸籍システム使用料278万4320円は、戸籍端末の賃借料とソフトウェアの使用料です。前年度に対しまして1245万6775円の増となっております。主な理由につきましては、戸籍に振り仮名を記載するための戸籍及び戸籍附票のシステム改修や戸籍システムをクラウド環境に移行した経費が増額となったためです。

次に、決算書112ページ中段、0202住民基本台帳事務に要する経費3065万4899円です。歳出予算執行状況は4ページ、60番、住民基本台帳事務に要する経費になります。当初予算2071万5000円、繰越補正によりまして、予算現額3132万6000円に対しまして執行額が3065万4899円で、執行率が97.86%です。

歳出の主な内容につきましては、12節住民基本台帳システム改修委託484万円です。こちらは、マイナンバーカードに振り仮名を記載するための改修委託となっております。

次に、114ページ中段になります。

18節J-LIS市町村負担金221万8741円は、人口5万人未満の団体規模に設定されましたコンビニ交付サービスの運営負担金となっております。マイナンバーカードの交付状況につきましては、令和6年度末の時点で交付割合が87.4%となっております。前年同時期と比較しまして11%の増となっております。こちらは、施設等への出張申請の実施であったり、マイナ保険証及びマイナ免許証の開始などで交付割合が増加したと考えております。

次に、決算書171、172ページをお開きください。

歳出予算執行状況は10ページ、152番になります。

決算書の下段になります、5款1項1目勤労者福祉施設費、02勤労者福祉施設管理運営事業、0201勤労青少年ホーム管理に要する経費9861万7837円です。当初予算が316万1000円、繰越補正によりまして予算現額が1億2265万1800円に対しまして執行額が9861万7837円で、執行率が80.4%です。

主なものは174ページ上段になります。

12節勤労青少年ホーム及び稲吉児童館解体設計業務委託792万8800円と、14節勤労青少年ホーム等解体工事8789万円で、こちらは令和7年3月に解体工事が完了となっております。

説明は以上となります。よろしくお願いします。

○設楽健夫委員長

説明に対して挙手、発言を求めます。ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

終結いたします。

続いて、説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○税務課長（元木義和君）

それでは、税務課所管分の説明をさせていただきます。

一般会計の歳入になります。

決算書13、14ページをお開き願います。

上段になります。

市税歳入としまして、調定額58億9994万5795円、収入済額56億9170万6185円、不納欠損額1322万3085円、収入未済額が1億9501万6525円です。前年度と比較すると調定額で1億1406万4677円の減、1.89%の減となり、収入済額で1億53万1562円の減、1.73%の減となります。

次に、市税の税目ごとに説明します。

1 款市税、1 項 1 目個人市民税現年度課税分、調定額20億5110万3284円で、前年度と比較すると1億1641万1698円の減、5.37%の減となり、収入済額は20億1713万4456円で、前年度と比較すると1億661万7040円の減、5.02%の減となります。調定額が減額の主な理由としましては、定額減税の実施に伴い、市民税の減税を行ったため減額となっています。

滞納繰越分につきましては、調定額9522万3569円で、前年度と比較すると313万9930円の増、3.41%の増となります。収入済額は3438万460円で、前年度と比較すると457万908円の増、15.33%の増となっています。

次に、2 目法人市民税現年度課税分、調定額4億4298万1800円で、前年度と比較すると2872万9900円の増、6.94%の増となっています。収入済額は4億3896万4500円で、前年度と比較すると2533万7029円の増、6.13%の増となっています。

滞納繰越分につきましては、調定額424万8464円で、前年度と比較すると25万9446円の減で、5.76%の減となっています。収入済額は135万2700円で、前年度と比較すると33万3335円の増、32.70%の増となっています。

次に、2 項固定資産、1 目の現年度課税分、調定額27億3921万9985円で、前年度と比較すると3245万515円の減で、1.2%の減となっています。収入済額は27億288万418円で、前年度と比較すると3365万3250円の減で、1.17%の減となっています。調定額が減少の主な理由といたしましては、当初見込んでいた過去3年間の平均で予想していた償却資産の太陽光発電設備新規課税で約1500万円の減、同じく償却資産の新規課税で約1800万円が減となり、そちらが主な理由です。

滞納繰越分につきましては、調定額8940万949円で、前年度と比較すると257万423円の減、2.79%の減となっています。収入済額は3202万1149円で、前年度と比較すると260万2870円の増、8.85%の増となっています。

次に、2 目国有資産等所在市町村交付金、調定額、収入済額409万800円で、前年度と比較すると45万2100円の減です。減額の理由としては、県の資産台帳価格減額により交付金算定額が減額となったためです。

次に、3 項軽自動車税、1 目環境性能割、15、16ページの上段をお願いします。調定額、収入済額761万500円で、前年度と比較すると140万7400円の増、22.69%の増となっています。調定額が増額となった主な理由は、登録台数の増加によるものです。

次に、2目種別割現年度課税分、調定額1億4711万9800円で、前年度と比較すると343万円の増、2.39%の増となっています。収入済額は1億4371万7800円で、前年度と比較すると345万2922円の増、2.46%の増となっています。調定額が増額となった主な理由は、初回登録から13年以上経過した軽自動車の課税重課となった台数が98台増加したことなどによるものです。

滞納繰越分につきましては、調定額1252万5024円で、前年度と比較すると147万2495円の減、10.52%の減となっています。収入済額は313万1782円で、前年度と比較すると35万8406円の減、10.27%の減となっています。

次に、4項市たばこ税現年度課税分、調定額、収入済額3億642万1620円で、前年度と比較すると284万4770円の増、0.94%の増となっております。調定額増額の理由は、消費本数の増による増額となっているものです。

次に、55、56ページをお願いします。

55、56ページの21款諸収入、1項延滞金、加算金及び過料、1目1節の延滞金です。予算現額900万円に対して収入済額1106万5040円で、前年度と比較すると212万1740円の減、16.09%の減となっています。

主な歳入についての説明は以上となります。

続きまして、歳出における主な事業について説明いたします。

決算書は105、106ページをお願いします。

歳出執行状況は4ページ、タブレットパソコンの主要事業概要は77ページになります。

2款総務費、2項徴税费、1目税務総務費、備考欄の02税務事務総合調整事業、0201税務事務総合調整に要する経費であります。当初予算、予算現額とも57万8000円で、執行額が49万8657円、執行率が86.27%です。主な内容は、税務関係団体への負担金、補助金事業です。前年度とほぼ同様の支出となっております。

次に、備考欄、0202定額減税調整給付に要する経費であります。補正予算による対応で予算現額2億7418万9000円に対して執行額が2億7418万6745円で、執行率は100%です。主な内容は、定額減税調整給付に関する事業で、システム改修や関係通知代、管理業務の委託、補足調整給付金の支出となります。

次に、2款総務費、2項徴税费、2目賦課費の01市税賦課事務事業、107、108ページになりますが、備考欄の0101市税賦課事務に要する経費であります。当初予算4479万3000円、補正238万7000円により、予算現額4718万円に対して執行額が4594万2564円で、執行率が97.38%です。主な内容は、市税賦課に関する事業で、前年度は3733万3078円の支出で860万9486円増加しております。主な理由といたしましては、定額減税に伴う住民税システム改修や税還付金で課税更正などによる過年度分税金の還付金の増加によるものです。

次に、備考欄の0102固定資産適正評価に要する経費であります。当初予算、予算現額ともに923万2000円に対して執行額が909万7900円で、執行率が98.55%です。主な内容は、固定資産税賦課に関する事業で、前年度は926万5628円の支出で、16万7728円の減額となっておりますが、ほぼ前年度同様の支出となっております。

次に、2款総務費、2項3目徴収費、01収入未済額縮減対策事務事業、109、110ページになりますが、備考欄の0101収入未済額縮減対策に要する経費であります。当初予算2257万7000円で、減額補正により予算現額1936万1000円に対して執行額が1881万2766円で執行率が97.17%です。主な内容は、収納対策に関する事業で、督促状の発付等の郵送料や市税の収納に係る金融機関への手数料、霞ヶ浦庁舎に設置してあるセルフ収納機の機械借上料など、経常的な費用の支出となっております。

次に、備考欄の0102茨城租税債権管理機構運営に要する経費であります。当初予算、予算現額ともに

286万9000円、執行額も286万9000円で、執行率が100%です。支出内容は、茨城租税債権管理機構負担金です。令和6年度は滞納事案14件を機構に移管しており、その負担金286万9000円に対し、令和6年度の徴収実績は1636万2928円となっております。

歳出についての説明は以上となります。よろしくお願いします。

○設楽健夫委員長

説明が終わりました。

挙手をもって発言を求めます。

○佐藤文雄委員

会計年度任用職員の人数は変わりませんか、何人ぐらい税務課のほうはやっていますか。

○税務課長（元木義和君）

今現在、申告が始まる前なんです、税務課で3名雇用しております。ただ、10月までの方が1名いらっしゃいますのと、それから確定申告期間になりますと、その期間は人数を増やして募集をかけるようになりますので、当初予算としては前年度より減っているような状況です。

○佐藤文雄委員

3名が会計年度任用職員ということですか、3名、常時。10月とか今、10月に1人減になって、あと申告の時期にまた応募して3名に戻るということですか。ちょっとそこら辺の人数の入り繰りなんかを教えてください。

○税務課長（元木義和君）

先ほど言った3名のうち1名が10月で1人終わります。申告期間なんです、今、うちのほうで調整給付金というのを国の事業の減税をしたものを支給しているんですが、それに伴って、派遣会社に委託で2名ほど委託料で取っています。確定申告期間も、そちらの派遣を確定申告期間、また3名の方と、それから会計年度職員は4月から2名はいらっしゃるような形で予定しております。

○佐藤文雄委員

いわゆる確定申告のときに委託料として、どれがどの項目に入っていますか。

○税務課長（元木義和君）

決算書のほうの、今年度でいいますと106ページ、0202の定額減税調整給付に要する経費のところの12番で、調整給付情報等管理業務委託、こちらに入っておりますのと、次の108ページの0101の市税賦課事務に要する経費の12番、下のほうなんです、給報情報等管理業務委託に一部入っているということです。12番の給報情報等管理業務委託というのが63万1015円、この一部で先ほどのと合わせて派遣を昨年度は委託をお願いしているということです。

○佐藤文雄委員

派遣職員は、これ時間給はどのぐらいなんです。これ時間給でやっているんですか、それとも1日ということなんです、教えてください。

○税務課長（元木義和君）

1時間1,490円で委託をしているそうです。

○佐藤文雄委員

1,490円。

○税務課長（元木義和君）

はい。税抜きだそうです。

○佐藤文雄委員

派遣職員でやると税抜きで1,500円、普通の会計年度任用職員だと幾らですか。

○税務課長（元木義和君）

雇用保険とかそちらいろいろ別に払うものがありますので、雇用保険とか年金とか。ただ、時給としては1,050円ということです。

○佐藤文雄委員

共済費だとかいろいろなものも入れると、派遣社員と同じぐらいの金額になるという理解でよろしいですか。

○税務課長（元木義和君）

そうということで、委託をお願いできたという形になります。

○佐藤文雄委員

それから、今回、令和5年度と6年度の地方税、いわゆる市民税がかなり、特に市町村民税が1億円ぐらい減っていますよね。今、定額減税によって減ったというふうにおっしゃいましたけれども、この定額減税によってどのぐらいマイナスになっているんでしょう。それとも、この決算で106ページに2億6875万円というのがありますが、これが逆に減った金額になるんでしょうか。定額減税によって減った税額は幾らぐらいなんですか。

○税務課長（元木義和君）

そうしますと、決算書の13、14ページのところの一番上なんですが、一番上で市税のところで補正予算額1億7233万9000円、これが人数でうちのほうで見込んだ額ということになります。

○佐藤文雄委員

1億7233万9000円がいわゆる定額減税によって収入源になったというふうな理解でよろしいですか。

○税務課長（元木義和君）

異動などもありますので、実際1億1641万円の減ということは、所得割で増えた方とか給料が多くて増えた方もいらっしゃると思いますので、最終的にそういう結果になったということです。ただ、人数的にはこの減額を予定したということです。

○佐藤文雄委員

金額が20億円ですよ、個人市民税が。その20億円のうち17億円減ったということなんですか。

○税務課長（元木義和君）

1億7200万円。

○佐藤文雄委員

ごめんなさい。ということは、簡単にいうと、この1億円マイナスになりましたよね。これは定額減税によって1億円減ったという感じで理解していいと思うんですが、これは税務課は分からないと思いますけれども、このことによって財政が減りますよね。いわゆる主要財源ですよ。主要財源がこのままになると、我々の一般会計に大きく影響すると思うんですよ。こういうものに対する対策というのは、政府のほうは、つまり地方交付税での措置なんかはどのように聞いていますか。これは分かりますか。

○税務課長（元木義和君）

こちら経営企画課のほうでやっていると思うんですが、この減額した分はそのまま国のほうから補填されるということで聞いております。

○佐藤文雄委員

そうすると、この地方税そのものの1億円の減というのは、国のほうから丸々補填されるということ

になると、この計算そのものがよく分からないですね。そうすると、減ってはいないということですか、あまり。市民税では減ってはいないということになるんですか。

○税務課長（元木義和君）

基本的にはシステムのほうで減額した金額というのが出ますので、最終的な、先ほど言ったと思うんですが、結果として全体で1億1641万1698円が前年度より減でした。ただ、うちのほうの見込みとして1億7000万円ぐらいは減ると思いますので、6000万円ぐらいはそれよりは増えて入ってきたと。それは普通に給与所得が上がった、市県民税を納めた方がたくさんいたという理解になると思います。

○佐藤文雄委員

これ単純に、ずっと所得割でも、21億円から20億5000万円ぐらいが19億円、20億円割りましたよね。これは結果的には補填されているという理解でよろしいんですか。

○税務課長（元木義和君）

減った分の歳入については経営企画課のほうでやっていますので、ちょっと数字的には、うちのほうで減らした分は、必ずこれだけ減ったというのを報告していますので、その分は国から入ってきているということになると思います。20億円がだんだん減っているというのは、という話ですが、これについては皆さんの所得によって決められるものですから、一概にこれが原因ということはちょっとここでは述べられないんですが、ただ、前年度と比較して歳入が1億1641万円程度減っているのは、定額減税の影響であると考えております。

○佐藤文雄委員

人数の減ではあまり影響はございませんか。人数の減、いわゆる市の人口減の影響はあまりありませんか。

○税務課長（元木義和君）

当初予算を組むときに納税者数のほうを出しておりますが、令和4年で2万1432人、令和5年で2万1743人、令和6年で2万2025人ということで、納税者数は増えておりますので、先ほど言ったとおり去年より1億7000万円、本当は減額のところが1億1000万円程度だったから、それはこの納税者数が増えたことによって、そこまで減らなかったということなのかなというふうに考えております。

○佐藤文雄委員

私は減っているかなと思って聞いたんですが、増えたというのは、何か増えた理由はあるんですか。増えた理由は分からない。

○税務課長（元木義和君）

働いている人の人数が全体的に増えたということなので、市の人口が減っていることもあると思いますが、働いている人の人数は若干増えているというような形になっております。

○佐藤文雄委員

つまり働いている人が多くなったと。いわゆる高齢者の人も働いているとかそういうことで、収入が、そういうことが考えられるということですかね。

○税務課長（元木義和君）

そのようなことになると思います。

○設楽健夫委員長

そのほかございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

質疑を終結いたします。

続いて説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○環境防災課長（服部光浩君）

市民部環境防災課の服部です。よろしくお願いいたします。

それでは、環境防災課所管の決算についてご説明いたします。

初めに歳入についてご説明いたします。

決算書24ページをお願いいたします。

12款1項1目1節、備考欄中段になります。交通安全対策特別交付金458万6000円です。これは交通反則金を財源に総務省から交付されており、交通安全施設の整備に活用しているものでございます。

続きまして、決算書38ページをお願いいたします。

15款2項8目1節社会資本整備総合交付金の備考欄中段になります。防災安全交付金1180万6584円につきましては、災害対策に要する経費、備品購入費の排水ポンプ車購入に充当しております。

続きまして、決算書44ページをお願いいたします。

16款2項3目1節の保健衛生費補助金、備考欄の一番上になります。浄化槽設置整備事業費補助金238万6000円です。こちらは浄化槽設置に係る県補助金となっております。

次に、同じ枠内にあります自立分散型エネルギー設備導入促進補助金80万円です。こちらは家庭用電池システム設備の設置補助金となります。

歳入については以上となります。

続きまして、歳出について主要な事業についてご説明させていただきます。

決算書94ページ、歳出予算執行状況は3ページのナンバー38をお開きください。タブレットの主要事業概要は66ページになります。

2款1項8目01生活安全対策事業、0101交通安全対策に要する経費です。当初予算4687万3000円、減額補正550万円により、予算現額4137万3000円に対しまして、執行額4112万7367円、執行率は99.41%でございます。主な支出は、市内防犯灯のLED化業務委託料1397万880円です。その他市民要望等によるカーブミラーやガードレール等、市が設置する交通安全施設工事費262万8230円の支出となっております。

続きまして、決算書96ページ、歳出予算執行状況は同じく3ページのナンバー39、タブレットの主要事業概要は同じく66ページになります。

0102地域安全対策に要する経費です。当初予算1213万2000円、減額補正155万9000円により、予算現額1057万3000円に対しまして執行額1025万7070円、執行率は97.01%でございます。主な支出としましては、防犯カメラ等機器保守点検委託206万8000円、カメラ付防犯灯設置工事354万2000円となります。

続きまして、決算書168ページ、歳出予算執行状況は9ページのナンバー139をお願いいたします。タブレットの主要事業概要は67ページになります。

4款1項7目01環境保全事業、0102環境保全推進に要する経費です。当初予算826万7000円、予算現額同額に対しまして執行額785万1408円、執行率は94.97%でございます。主な支出としましては、特定外来生物等処分業務委託559万9000円が特定外来生物に指定されているアライグマ等の処分委託の支出となります。自立分散型エネルギー設備導入促進補助金200万円につきましては、家庭用の燃料電池システム及び定置用リチウムイオン電池システム設備の燃料電池となっており、1基当たり10万円を補助するものでございます。

続きまして、決算書は同じく168ページ、歳出予算執行状況も同じく9ページでナンバーは141になります。タブレットの主要事業概要も同じく67ページになります。

0104公害防止対策に要する経費です。当初予算516万4000円、予算現額同額に対しまして執行額463万4014円、執行率は89.74%でございます。主な支出としましては、決算書170ページをお開きください。

備考欄一番上になります。河川水質等調査業務委託318万8900円となります。水質汚濁防止法及び土壤汚染対策法等に基づく調査で、市内の河川、地下水、工場、ゴルフ場などの水質並びに土壌を年1回調査を行うものでございます。

続きまして、決算書は同じく170ページ、歳出予算執行状況は10ページをお願いします。ナンバー144になります。タブレットの主要事業概要は68ページになります。

02水質保全対策事業、0201浄化槽設置設備に要する経費です。当初予算3111万1000円、減額補正1900万円により、予算現額1211万1000円に対しまして執行額1071万7000円、執行率は88.49%でございます。主な支出としましては、浄化槽設置に対する補助金954万6000円となり、申請のあった19基に補助を行ったものでございます。

続きまして、決算書は同じく170ページ、歳出予算執行状況も同じく10ページでナンバー147になります。タブレットの主要事業概要は69ページになります。

03廃棄物対策事業、0301不法投棄対策に要する経費です。当初予算1099万5000円、予算現額同額に対しまして執行額1029万4319円、執行率は93.63%でございます。主な支出としましては、会計年度任用職員の報酬が395万1085円となります。

次に、決算書172ページをご覧くださいと思います。

備考欄、不法投棄処分委託260万2283円につきましては、道路上に投棄されたものなどで緊急性のあるものを公共用地から職員が回収し、たまっていたものを処分委託したものでございます。

続きまして、決算書、同じく172ページ、歳出予算執行状況、同じく10ページのナンバー148になります。タブレットの主要事業概要は同じく69ページになります。

0302一般廃棄物処理に要する経費です。当初予算3億9758万6000円、繰越額1294万4000円、減額補正3428万4000円により、予算現額3億7624万6000円に対しまして執行額3億5528万5152円、執行率は94.43%でございます。主な支出としましては、ごみ収集委託料の家庭系一般廃棄物収集業務委託1億5845万3328円、霞台厚生施設組合負担金として1億8914万1000円となっておりましてございます。

続きまして、決算書214ページ、歳出予算執行状況は14ページのナンバー209をお願いいたします。タブレットの主要事業概要は70ページになります。

9款1項3目02防災災害対策事業、0201災害対策に要する経費です。当初予算7571万円、増額補正207万2000円、充当額79万3000円により、予算現額が7857万5000円に対しまして執行額7494万3978円、執行率は95.38%でございます。主な支出は、防災行政無線連携防災アプリ導入業務委託の1053万8000円、防災井戸ポンプ及び塩素注入器交換工事366万8500円です。また、備品購入費2361万3168円については、排水ポンプ車を購入したものでございます。これは台風や豪雨などの影響による浸水被害の排水対策を講ずるために購入したものでございます。

続きまして、決算書216ページ、歳出予算執行状況は同じく14ページのナンバー211になります。タブレットの主要事業概要は同じく70ページになります。

0203防災訓練に要する経費でございます。当初予算324万2000円、予算現額同額に対しまして執行額316万37円、執行率は97.47%でございます。支出としましては、市民と一体となり、市民参加型の防災訓練を実施した経費で、決算額は316万37円となります。こちらにつきましては、6月23日に水害から命

を守るための避難訓練を実施し、318名の方が参加、また、11月24日に令和6年度総合防災訓練を実施し、1,314名が参加されました。

説明については以上となります。よろしくお願いいたします。

○設楽健夫委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。挙手をもって発言をお願いします。

○佐藤文雄委員

浄化槽の設備の件でお聞きしますけれども、毎回聞いているんですが、ちょっと数字的に確認したいんですが、当初の予算、また減額して結果的に19基になっていますが、当初予算幾らでしたか、基数は。

○環境防災課長（服部光浩君）

当初は60基を見込んでおりました。実際に19基になりまして、1900万円の減額補正をさせていただいたものです。

○佐藤文雄委員

毎回言っているんですが、60基ですよ、毎回。毎回60基だと思うんですよ。それで今回は19基。これ60基というのは、国とか県とかからの指導が入って60基ということになっているんですか。それとも、こちらとしては、今は浄化槽そのものは公共下水道そのものに入れないところを、こういう合併浄化槽を活用するということを推進していると思うんですよ。そういう意味での計画の中で、この60基なのか。そういうのが頭が決まっているのか。これはちょっと教えてください。

○環境防災課長（服部光浩君）

お答えいたします。

ただいまの60基の根拠ですが、循環型社会形成推進基本計画で、令和5年度から令和9年度の5か年の中で、年間60基ということで示しております。

ただ、先ほど佐藤委員がおっしゃられたように毎年60基が無理なんじゃないか、現実的じゃないんじゃないかということもありまして、昨年、過去3年分の令和5年度、令和4年度、令和3年度の平均を取りまして、令和7年度からは31基ということで変えさせていただいております。

○設楽健夫委員長

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

質疑を終結いたします。

本日の委員会はこれもちまして終了したいと思います、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたします。

それでは、これもちまして、本日の委員会を散会いたします。

なお、次回の委員会は9月11日午後1時30分より全員協議会室で引き続き審査を行います。

ご苦労さまでした。

散 会 午後 5時07分

かすみがうら市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

決算審査特別委員会

委員長 設 楽 健 夫